

宮崎県知事からの報告

(宮崎県津波浸水想定の
設定について)

国土交通省
平成25年4月



22160-1430
平成25年 2月18日

国土交通大臣
太田 昭宏 殿

宮崎県知事 河野 俊嗣



宮崎県津波浸水想定の設定について

津波防災地域づくりに関する法律第8条第1項に基づき、津波浸水想定を設定しましたので、同法第8条第4項により下記の通り報告いたします。

記

- 1 報告内容 宮崎県津波浸水想定の設定について
- 2 報告資料 宮崎県津波浸水想定 37枚
全体図 1枚
市町別図 36枚
- 3 参考資料 津波浸水想定について（解説） 1式

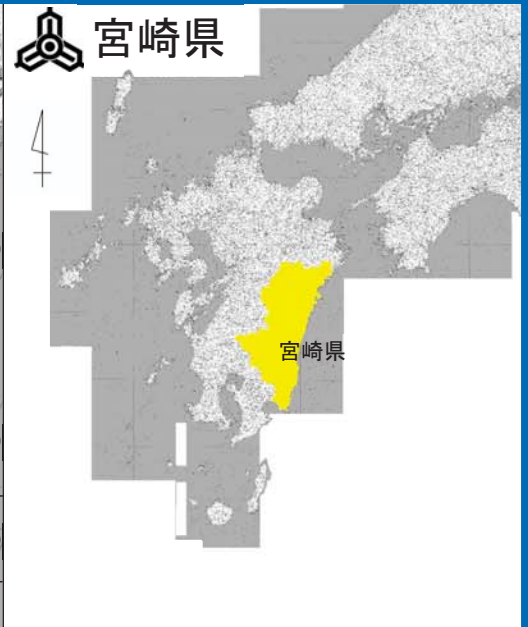
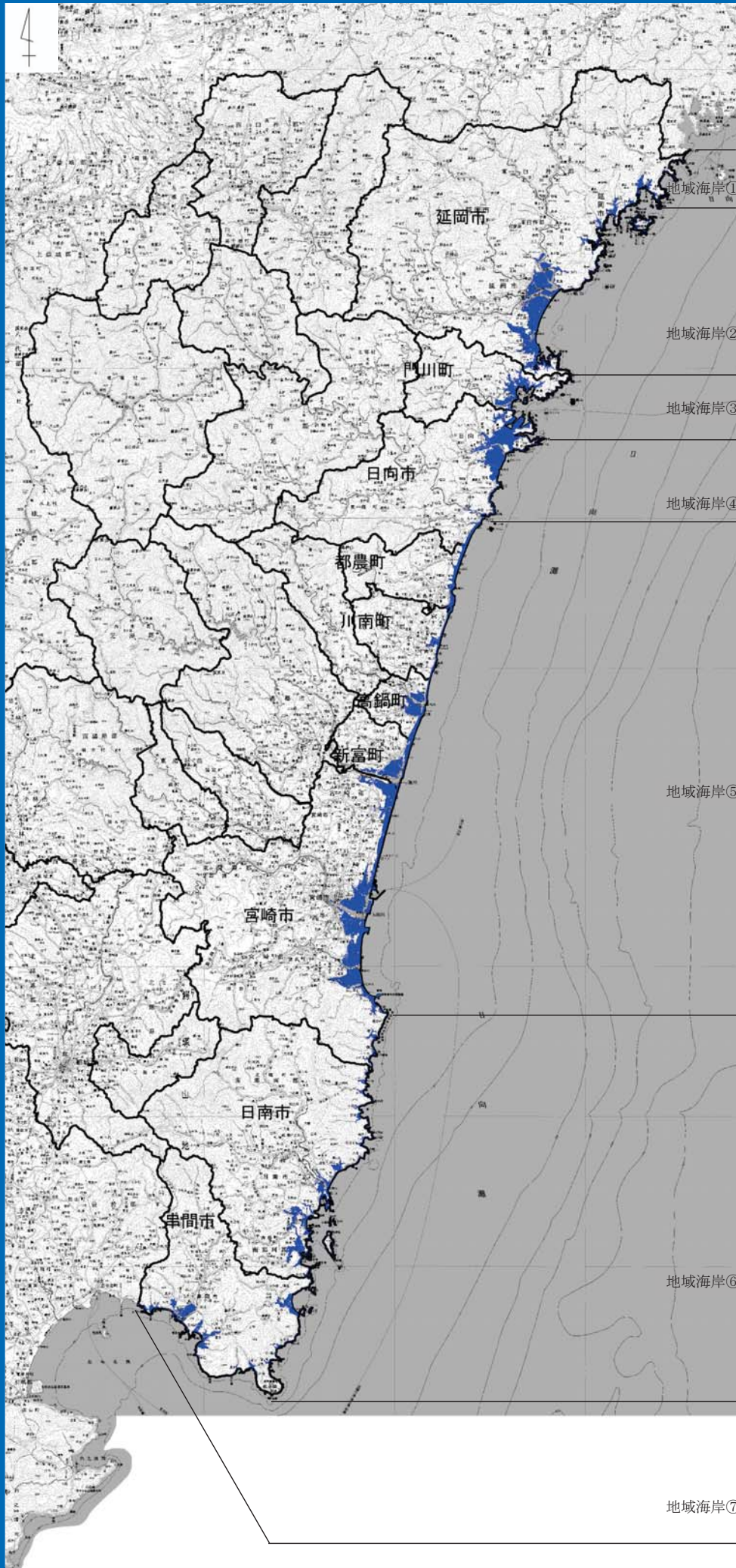
（文書取扱 危機管理課）

報告資料

宮崎県津波浸水想定図

全体図	1 枚
市町別図	36 枚

宮崎県津波浸水想定 全体図



凡例

■ 津波浸水予測範囲

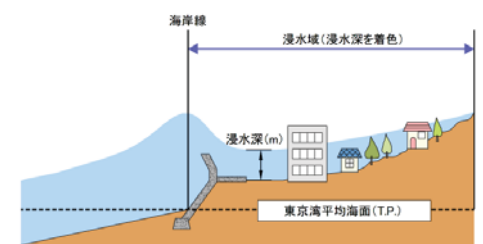
【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

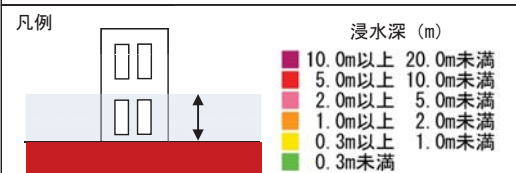
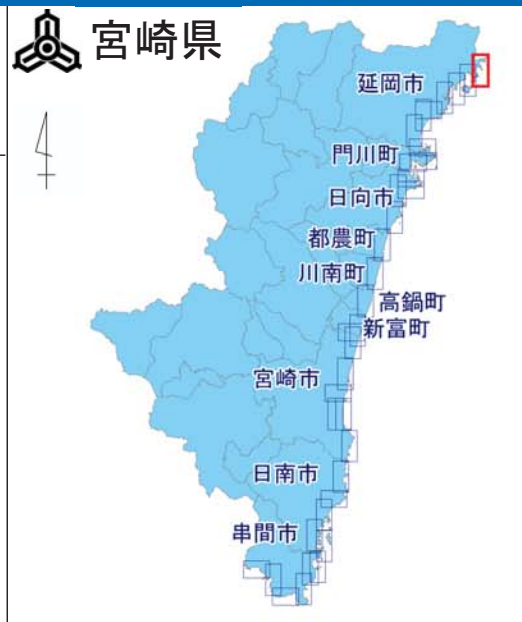
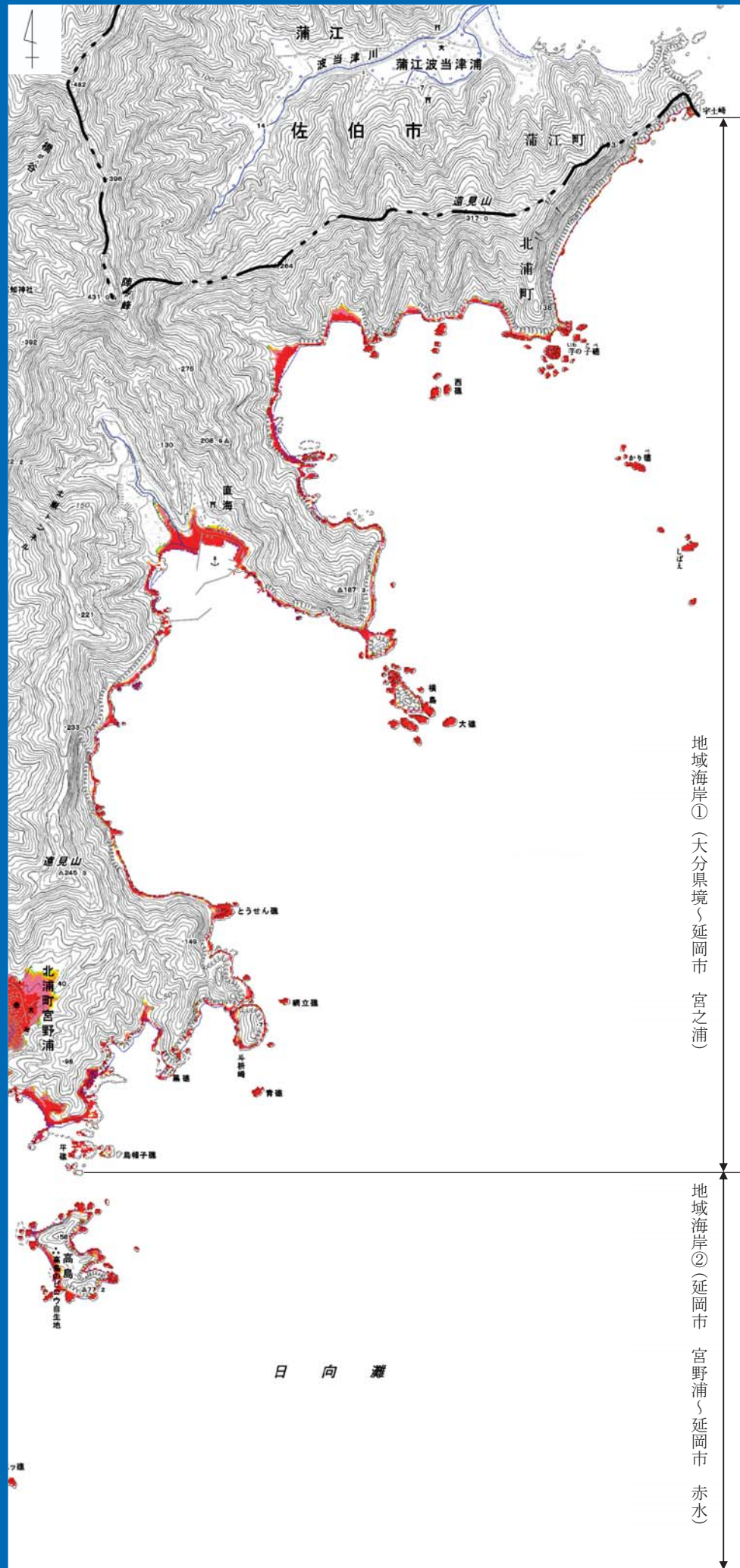
【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

図1 浸水想定用語



宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸①（延岡市 1/8）



[留意事項]

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。

○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。

○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

[用語の解説]

(1) 海岸の区分について

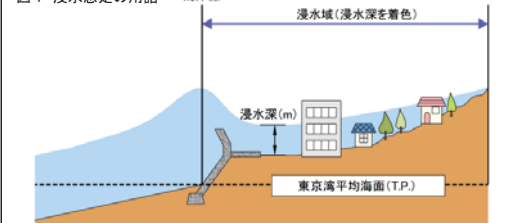
○地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について(図1参照)

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

図1 浸水想定のも

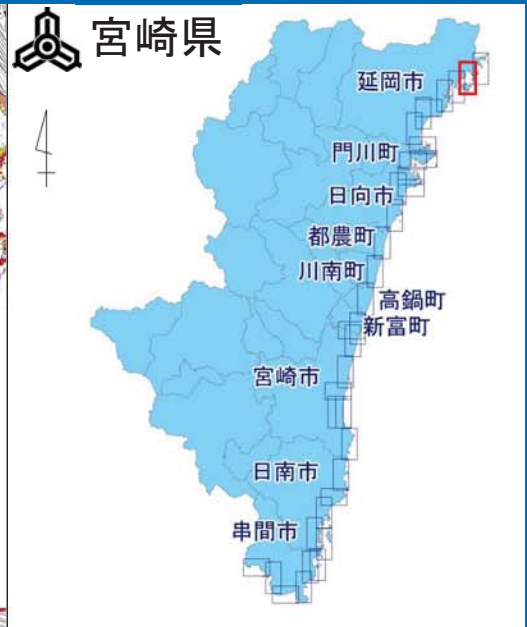
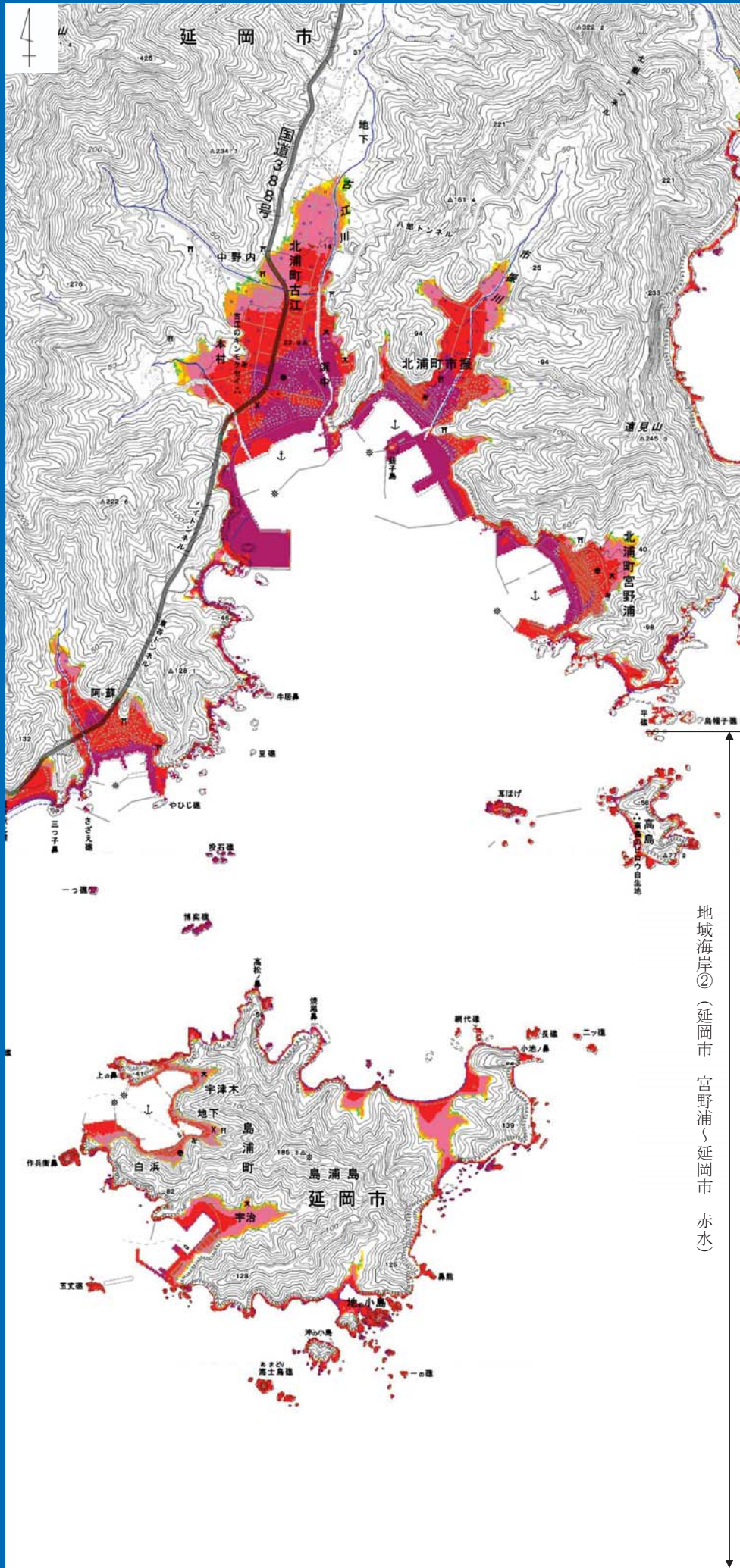


0.0 km

縮尺：1/25,000

2.0 km

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸② (延岡市 2/8)



凡例



浸水深 (m)

10.0m以上	20.0m未満
5.0m以上	10.0m未満
2.0m以上	5.0m未満
1.0m以上	2.0m未満
0.3m以上	1.0m未満
0.3m未満	

[留意事項]

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。

○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。

○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

[用語の解説]

(1) 海岸の区分について

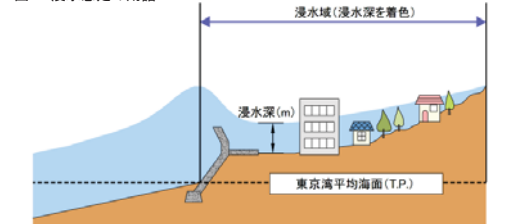
○地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について(図1参照)

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

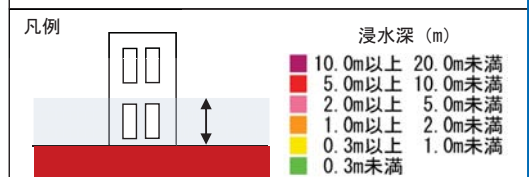
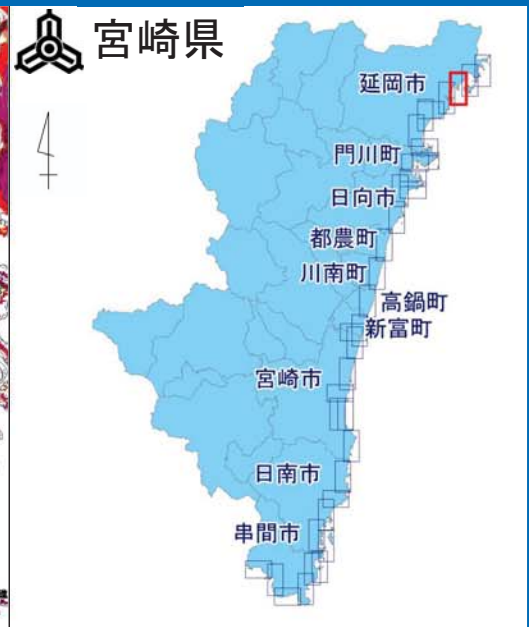
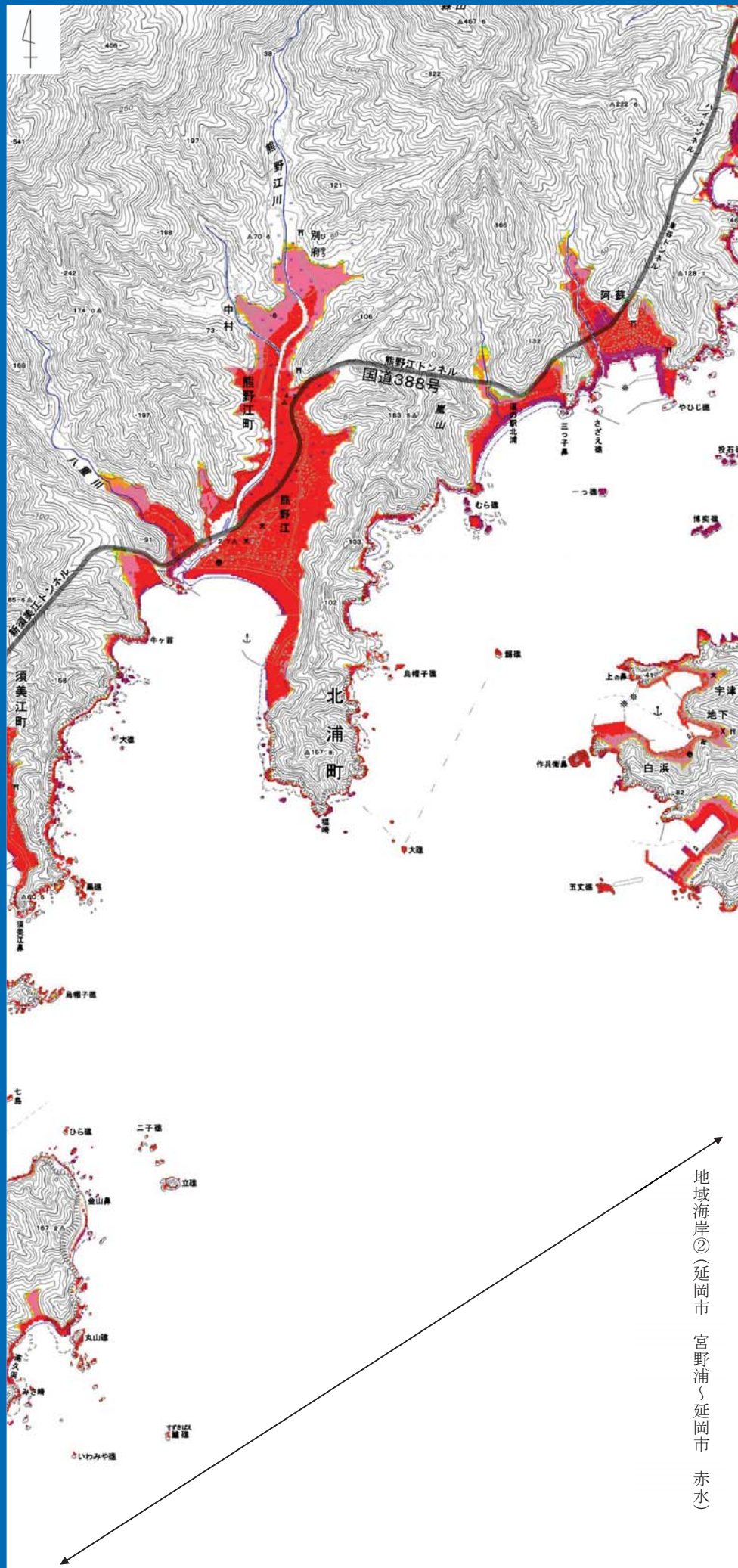
○浸水深:陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

図1 浸水想定のも



0.0 km 縮尺 : 1/25,000 2.0 km

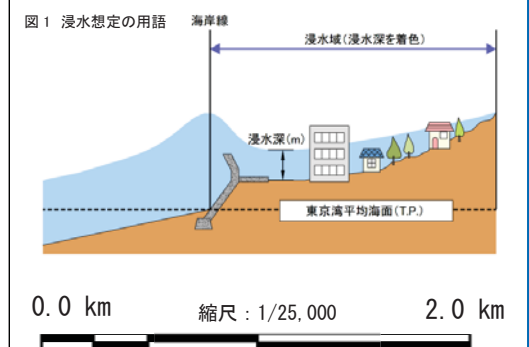
宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸② (延岡市 3/8)



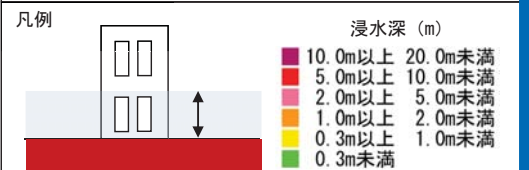
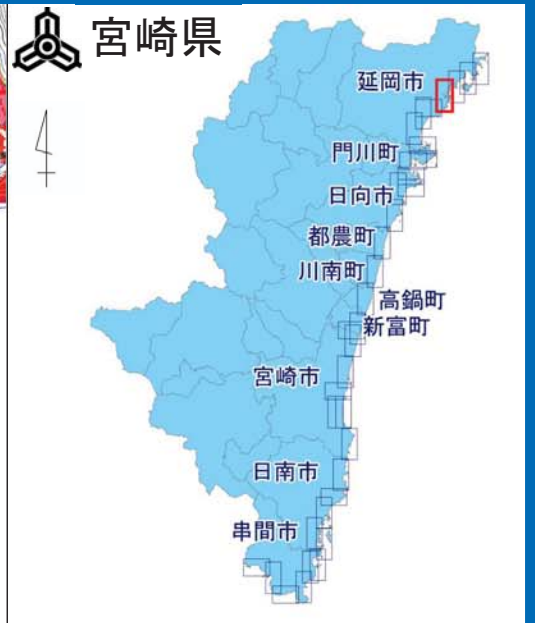
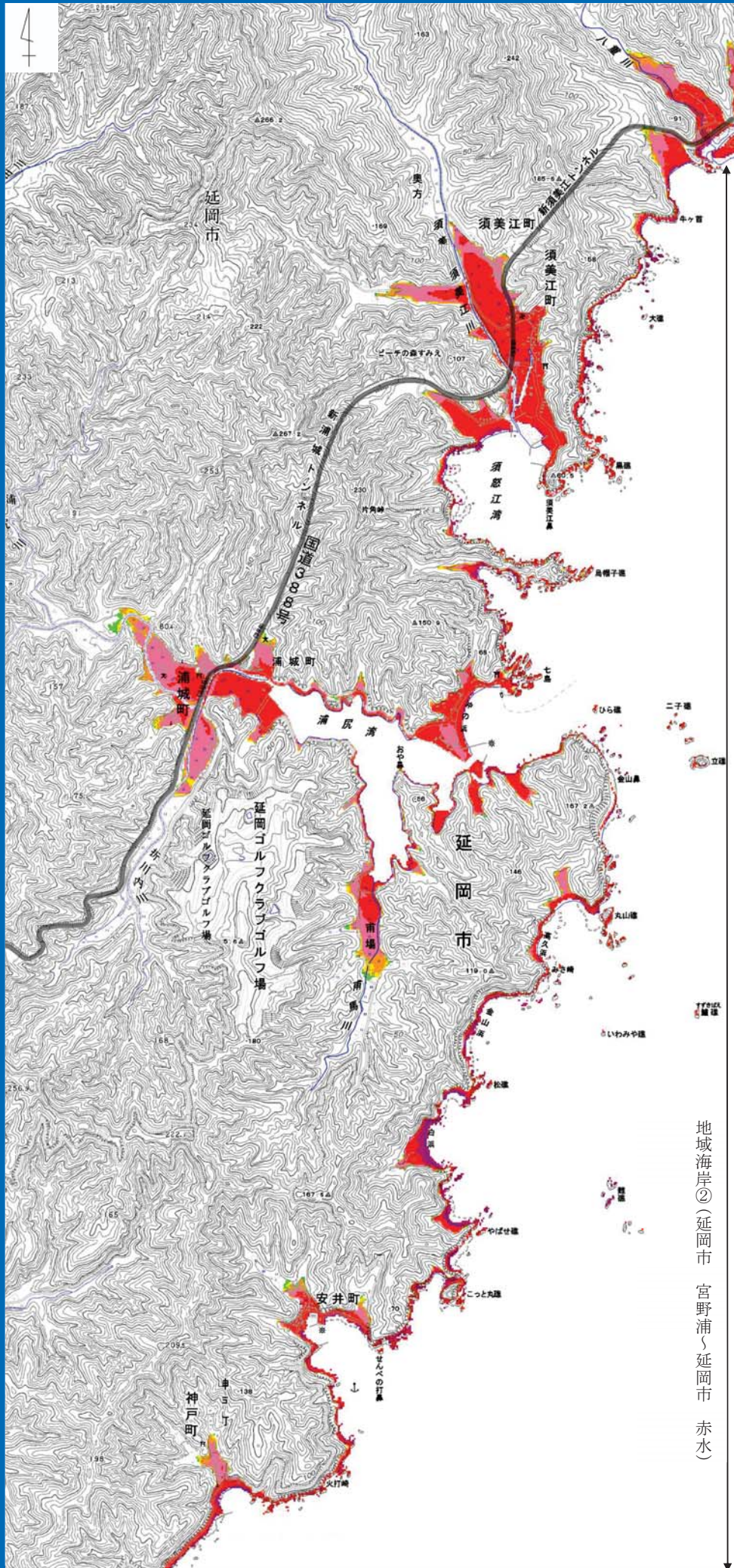
- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
- 地域海岸: 宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
- 浸水域: 海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深: 陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ



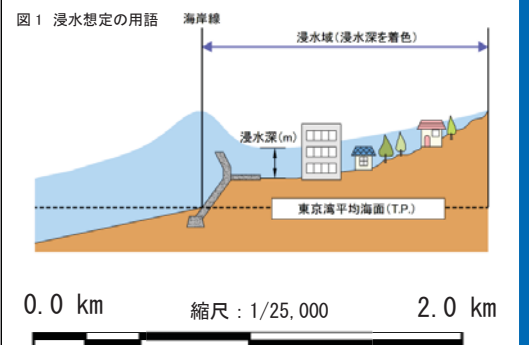
宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸② (延岡市 4/8)

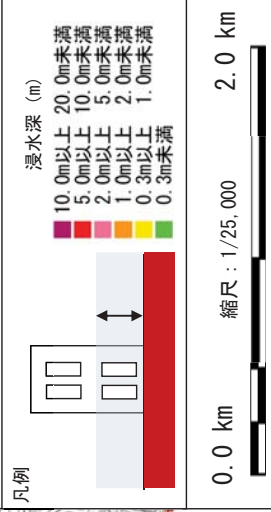
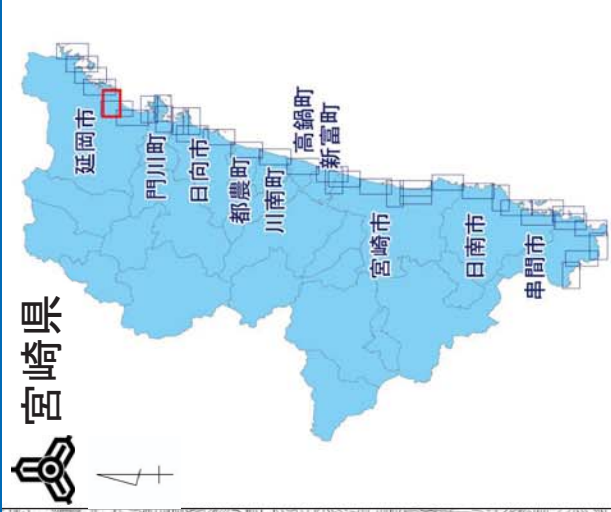
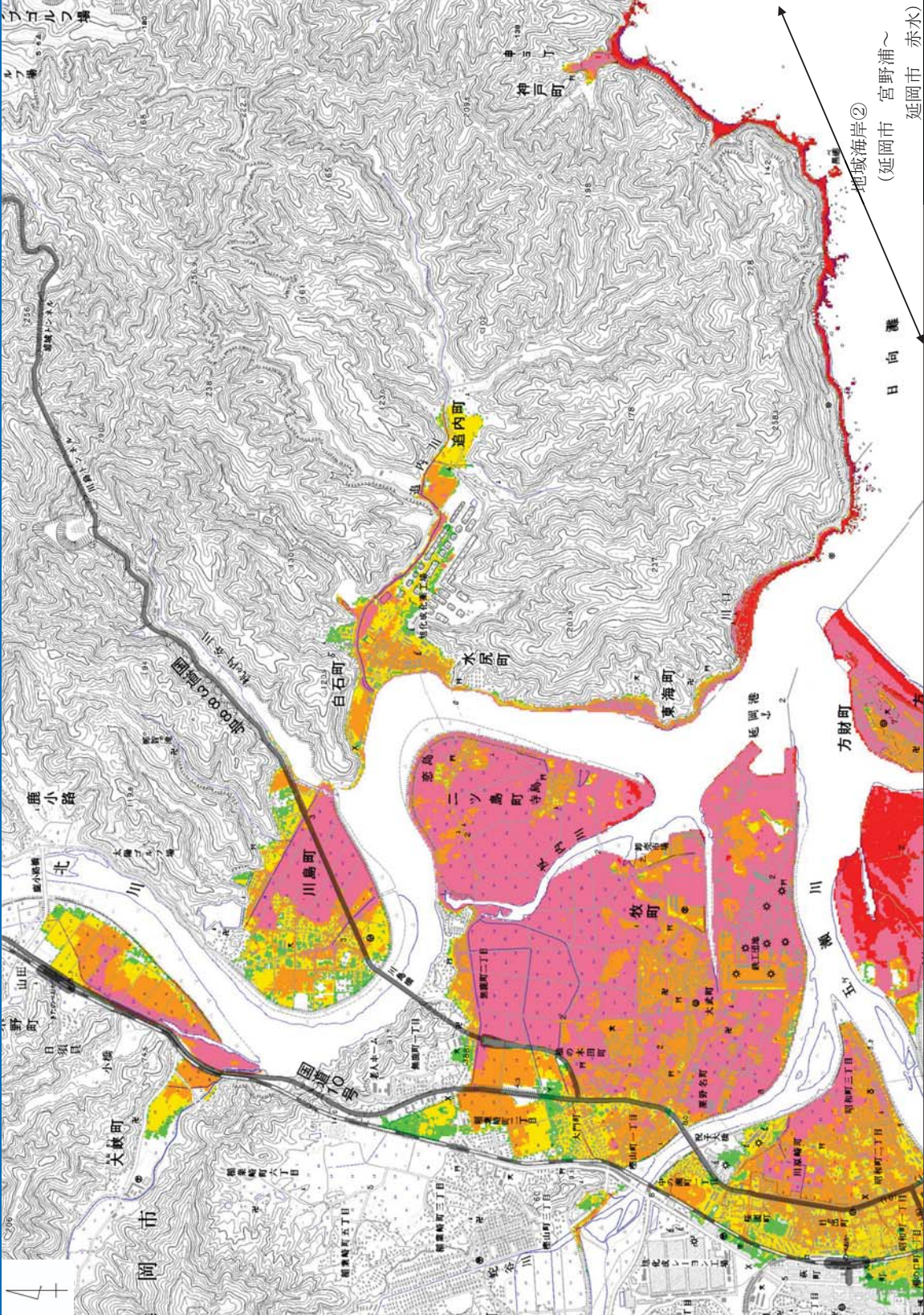


- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
- 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高さ範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
- 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ





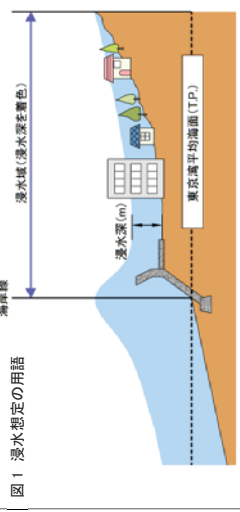
【用語の解説】

(1) 海岸の区分について

- 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について（図1参照）

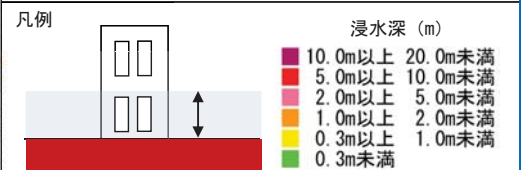
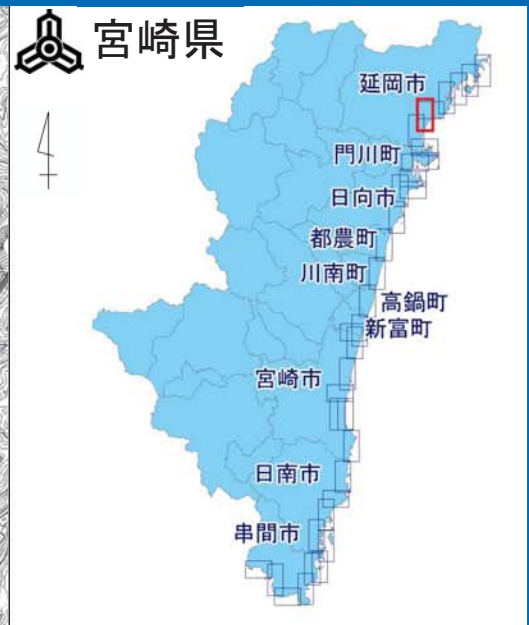
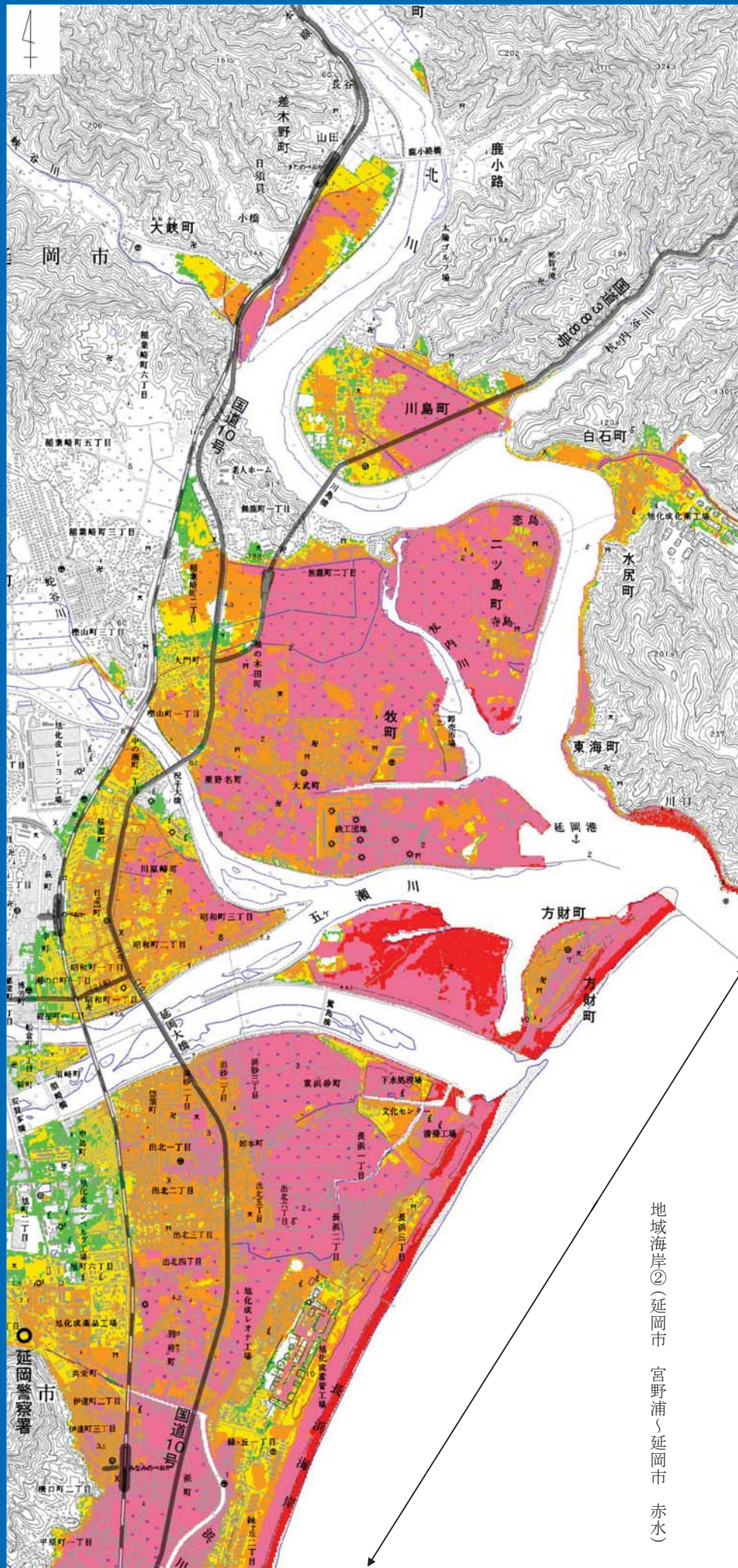
- 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
- 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



【留意事項】

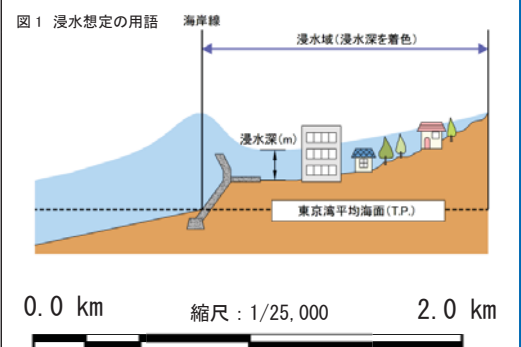
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことに注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸② (延岡市 6 / 8)

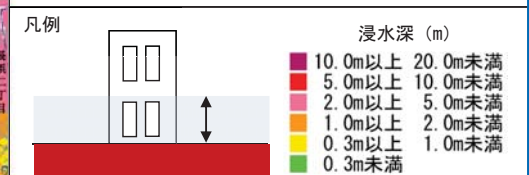
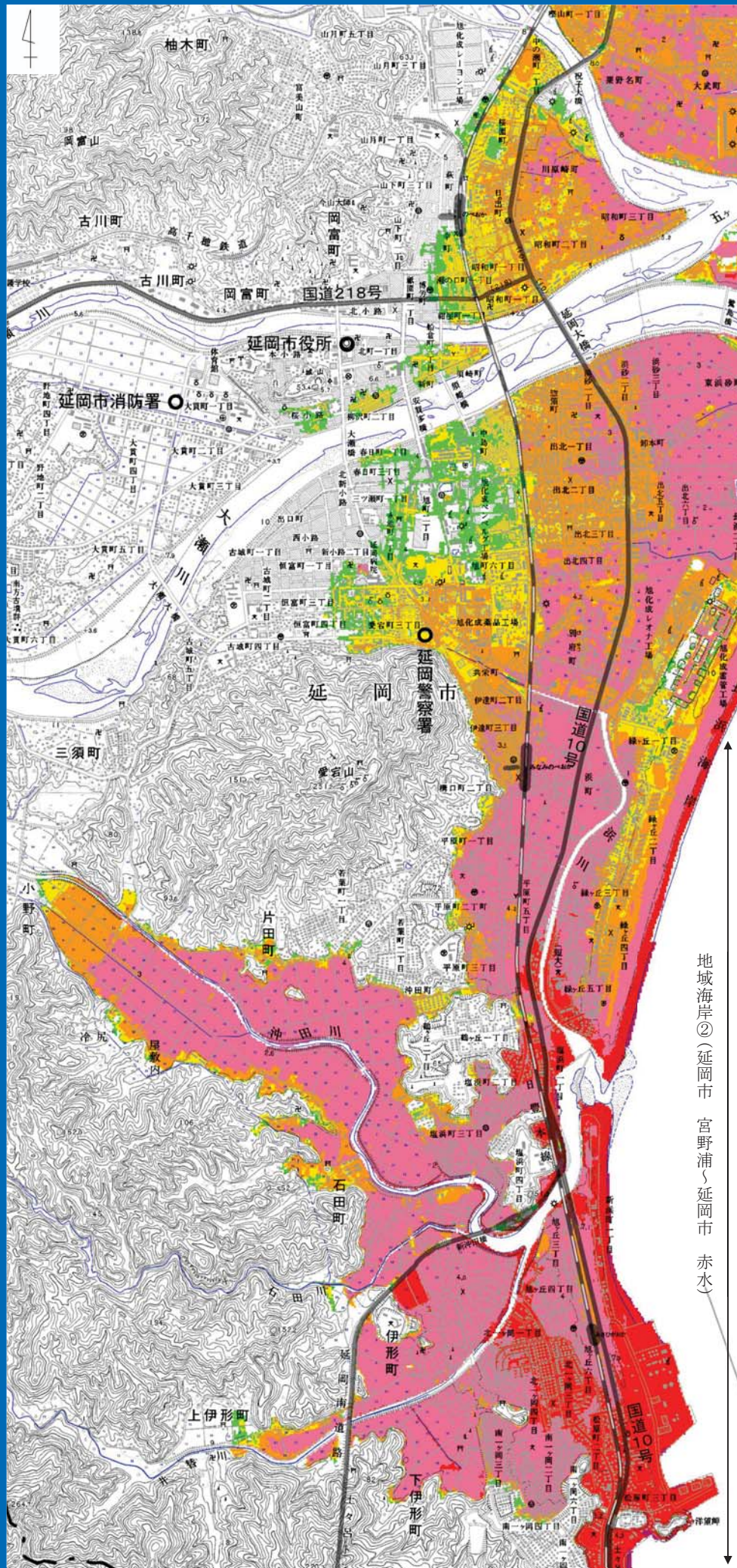


- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸: 宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高さ範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域: 海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深: 陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

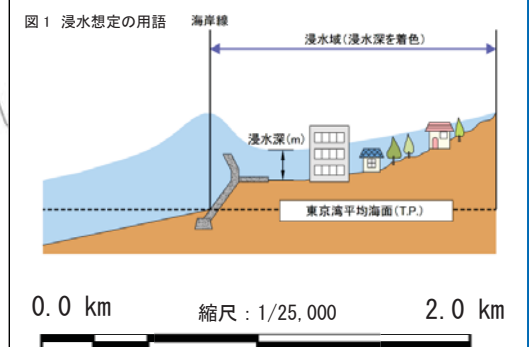


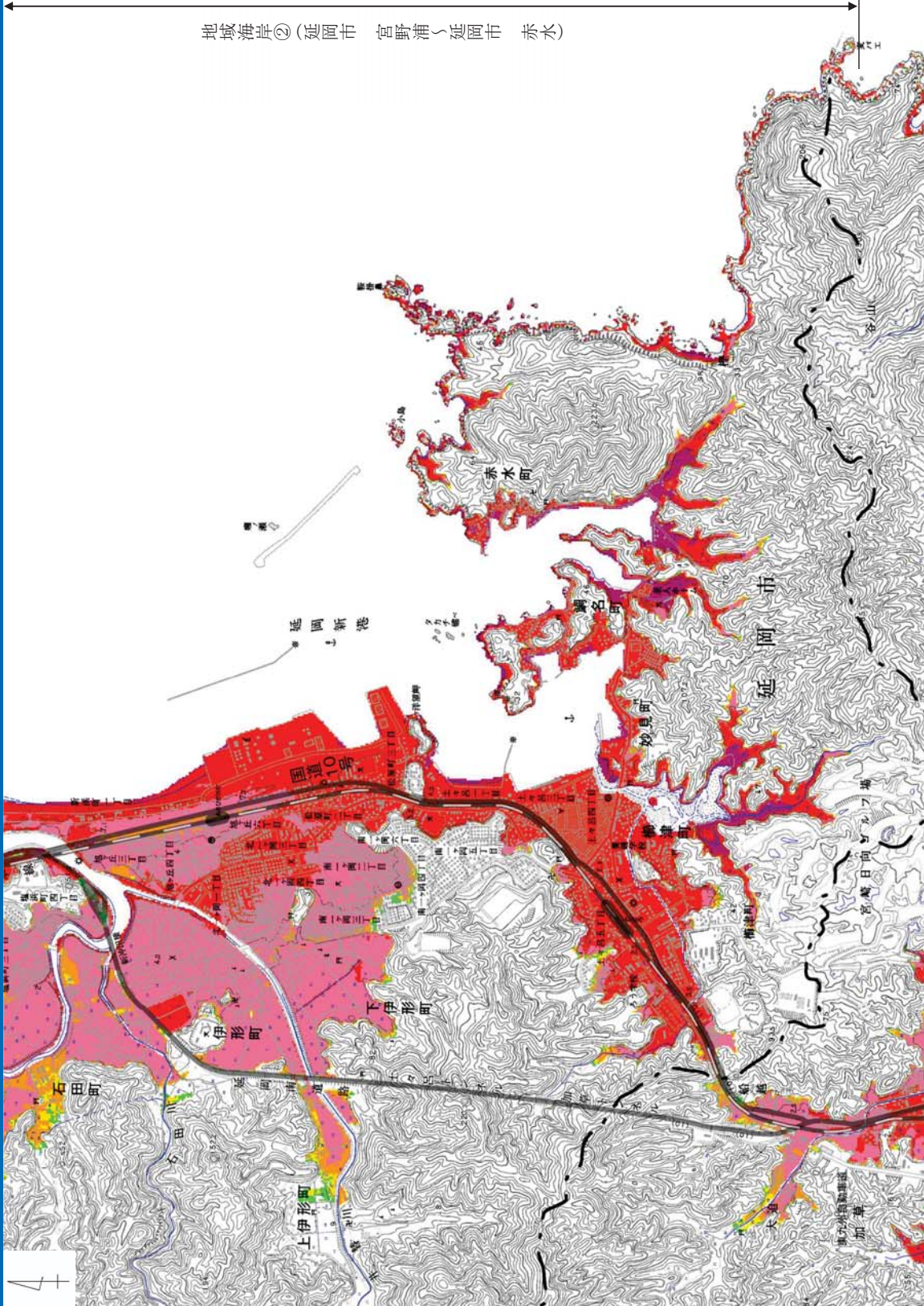
宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸② (延岡市 7 / 8)



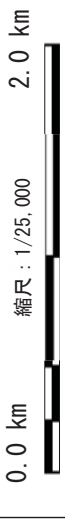
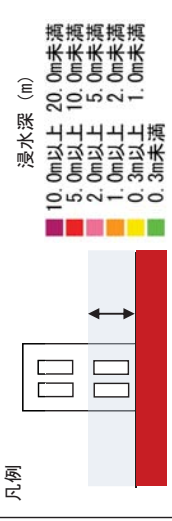
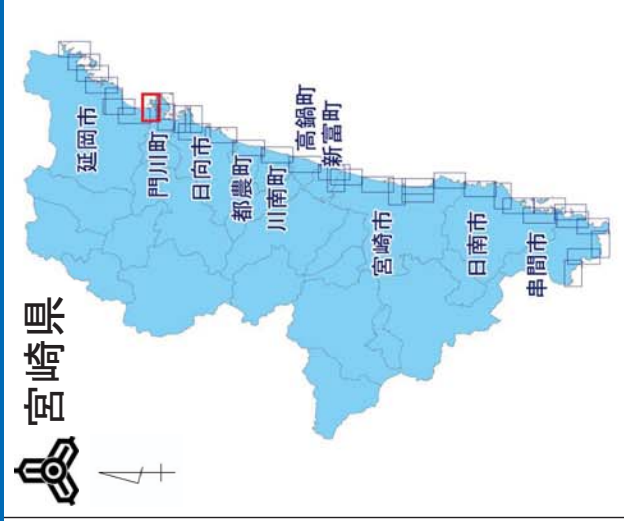
- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、各地による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水域などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

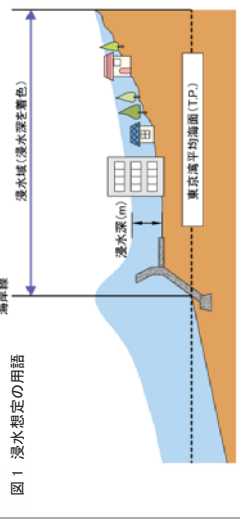




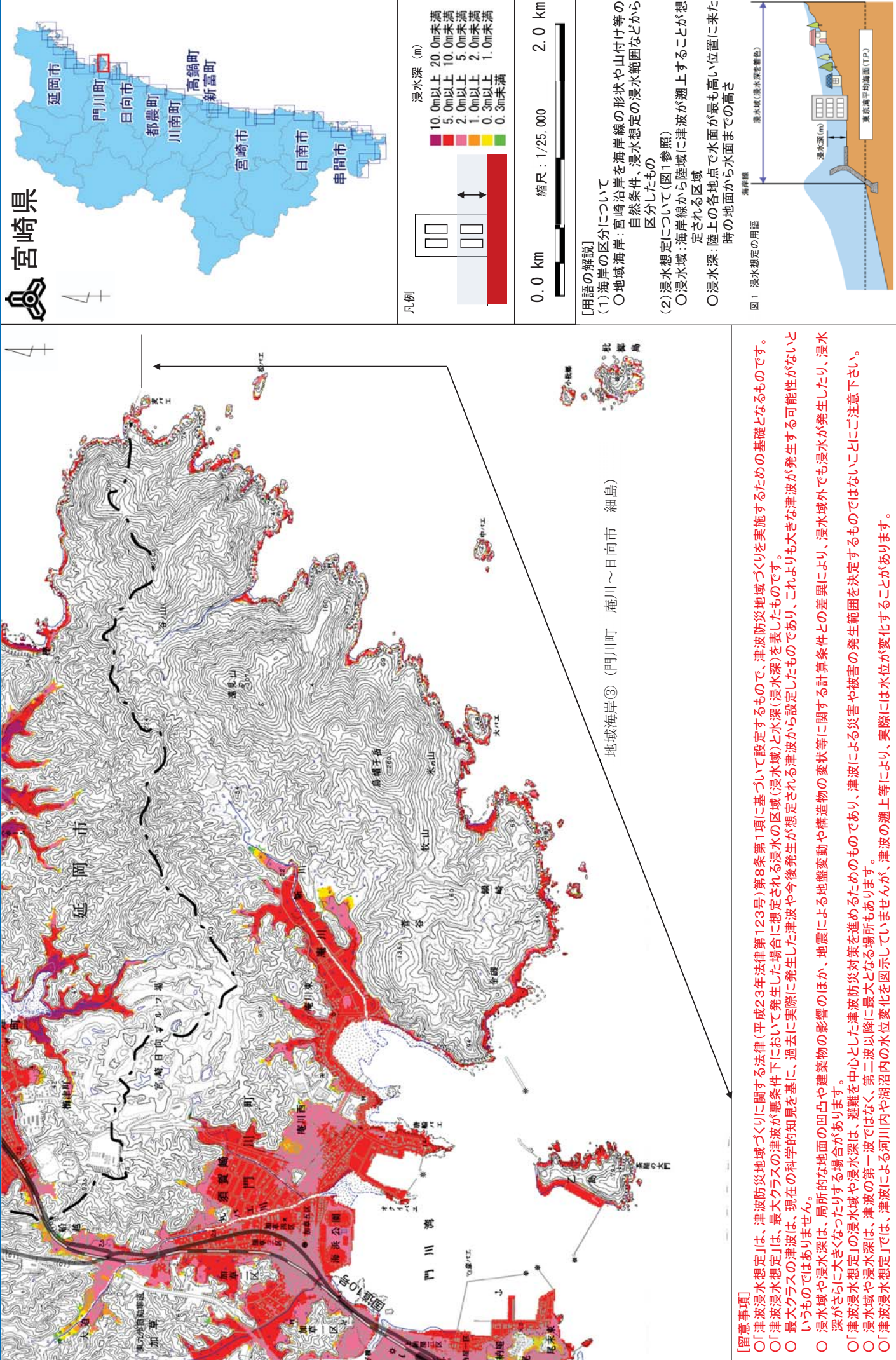
地域海岸②（延岡市 宮野浦、延岡市 赤水）



【用語の解説】
(1) 海岸の区分について
○ 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定、浸水範囲などから区分したもの
(2) 浸水想定について（図1参照）
○ 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○ 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

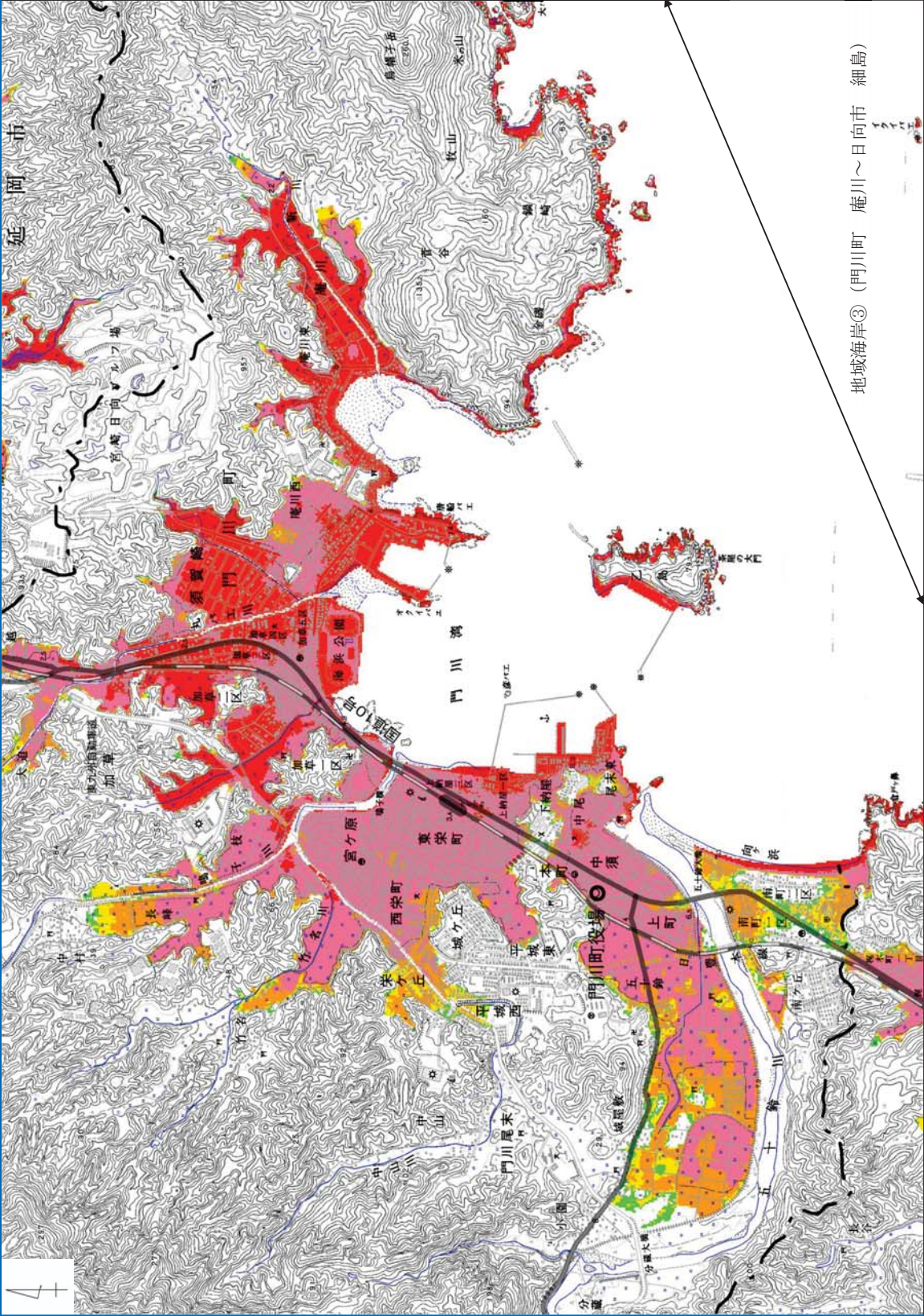


【留意事項】
○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものでもあり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。



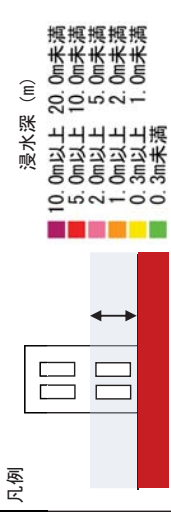
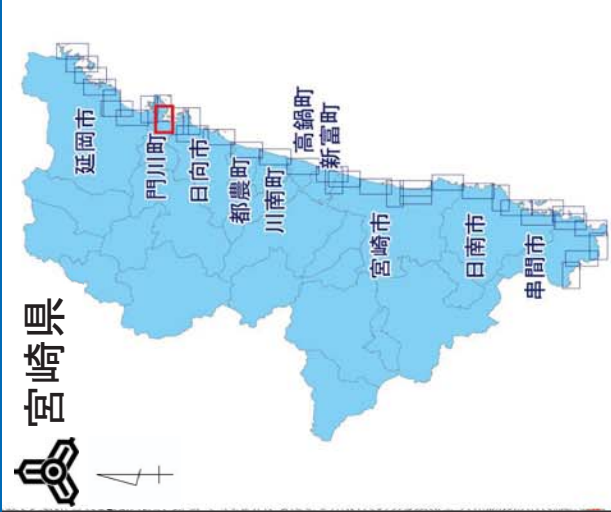
【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。



【留意事項】

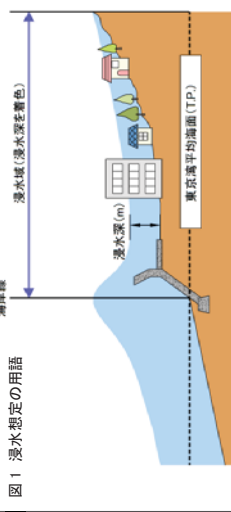
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

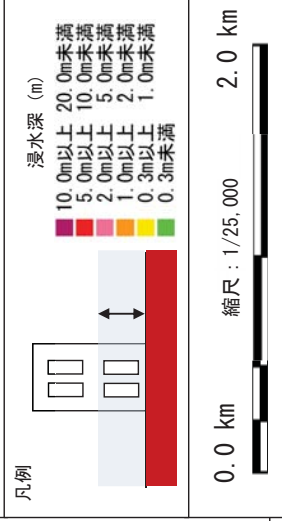
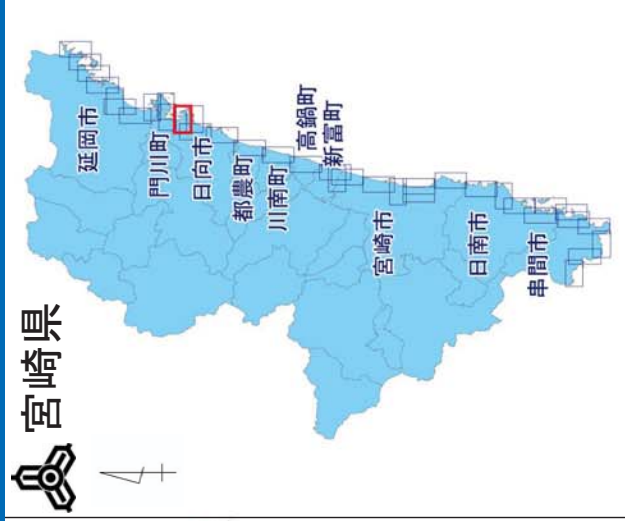
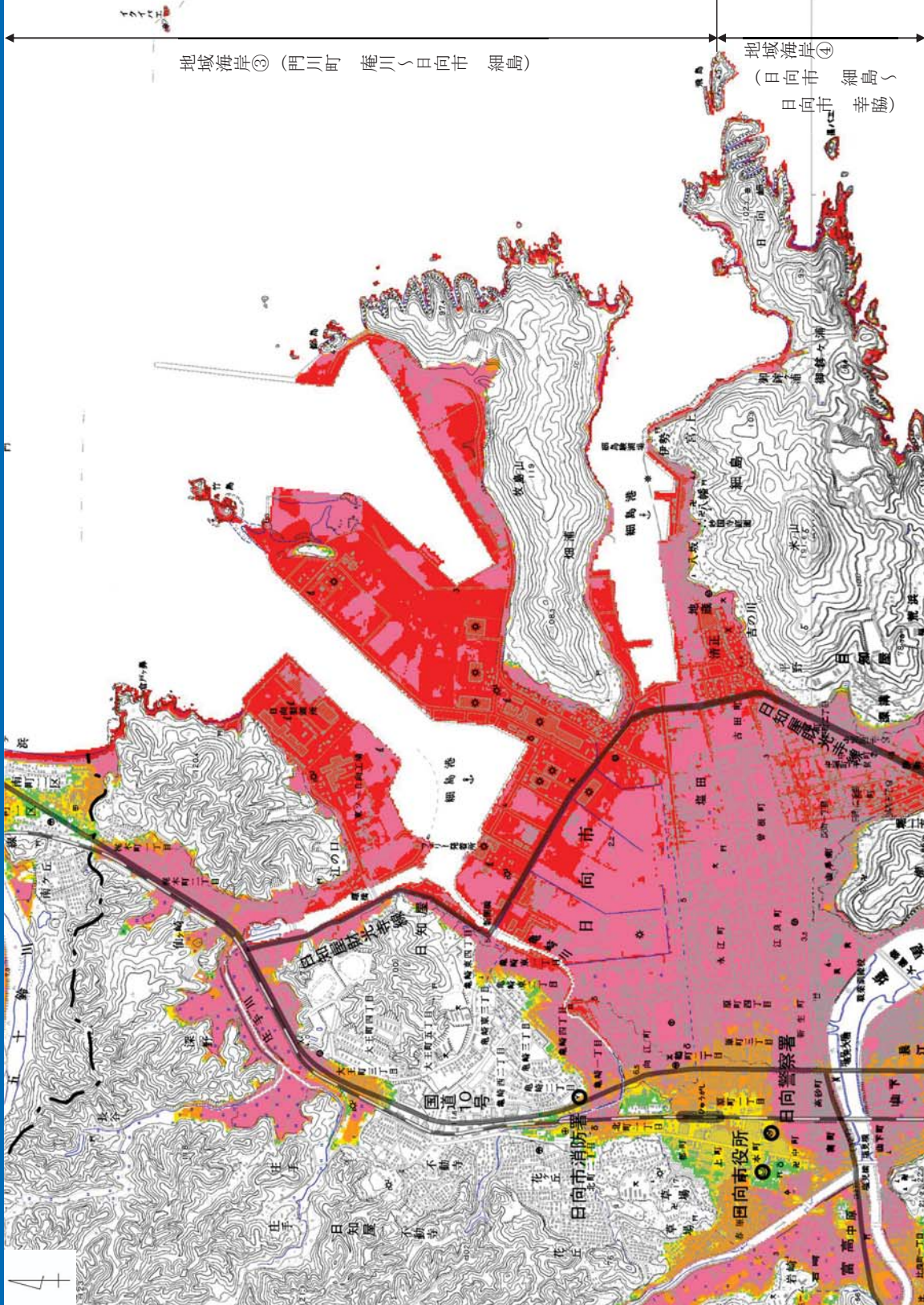


0.0 km 縮尺：1/25,000 2.0 km

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
○ 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について（図1参照）
○ 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○ 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ





【用語の解説】

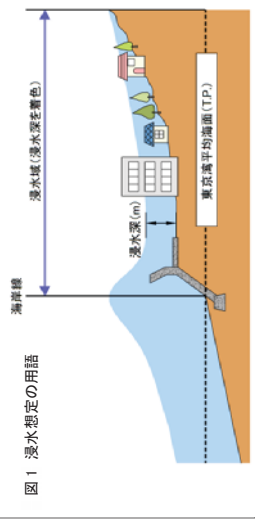
(1) 海岸の区分について

○ 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定津波の浸水範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について（図1参照）

○ 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○ 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



【留意事項】

○ 津波浸水想定は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○ 津波浸水想定は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

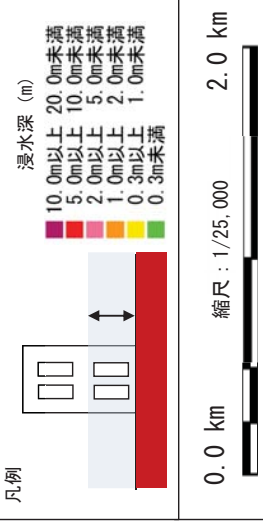
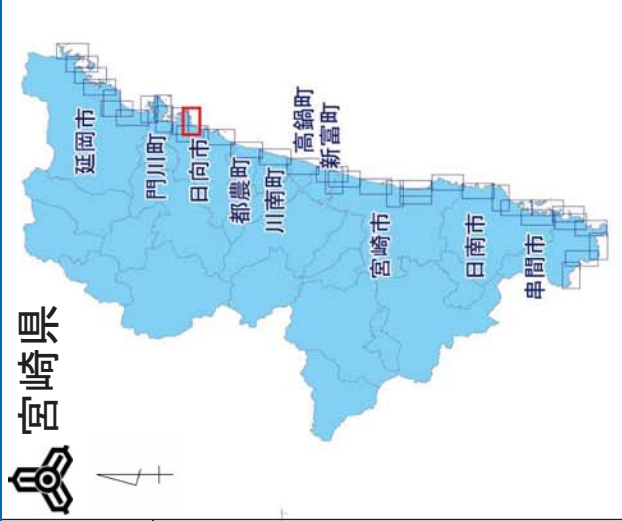
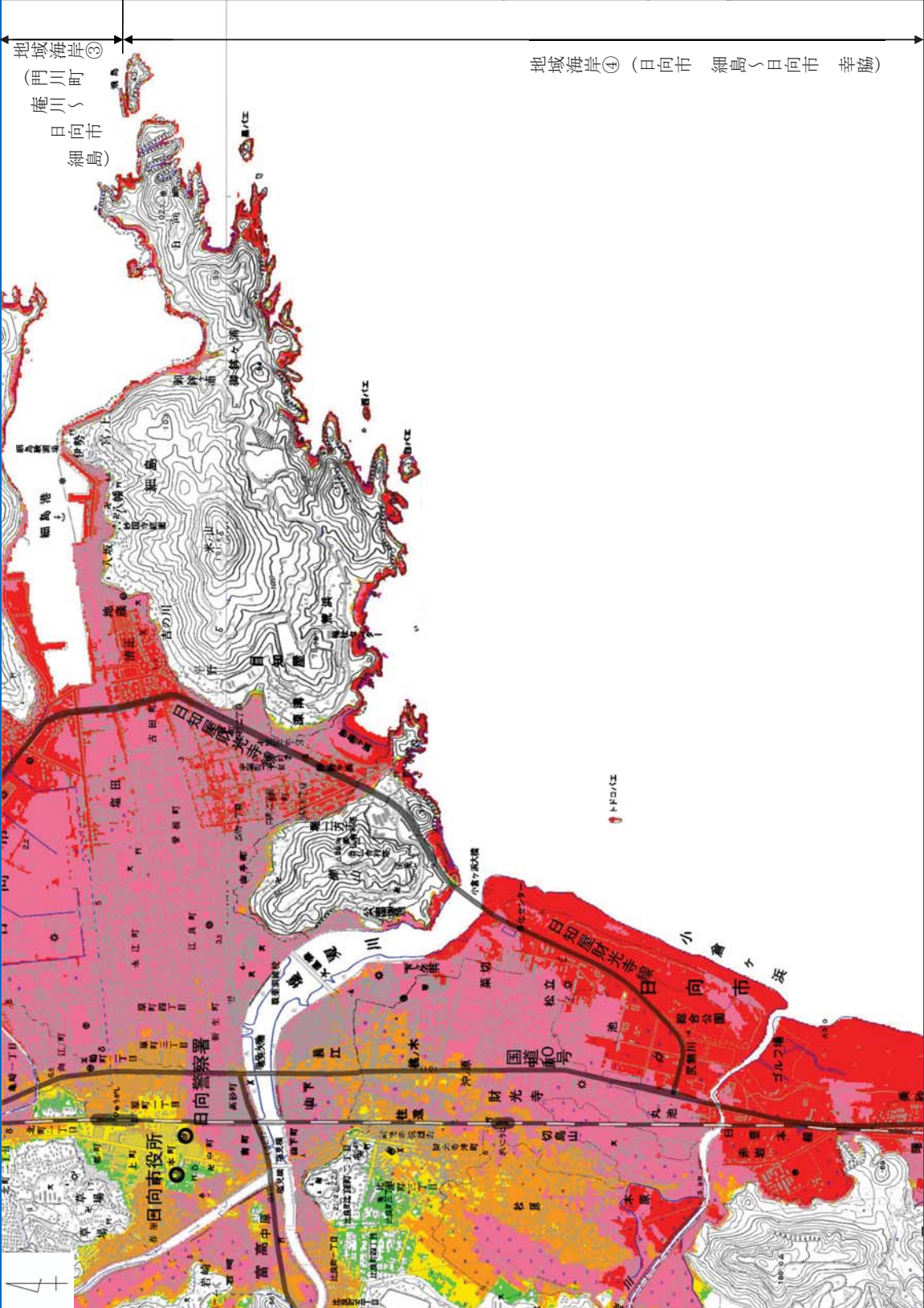
○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○ 津波浸水想定は、浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことに注意下さい。

○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○ 津波浸水想定は、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。



[用語の解説]

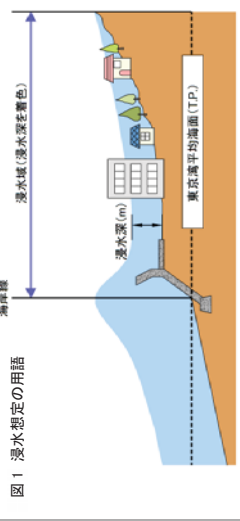
(1) 海岸の区分について

○ 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定津波の範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について (図1参照)

○ 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○ 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に來た時の地面から水面までの高さ



[留意事項]

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

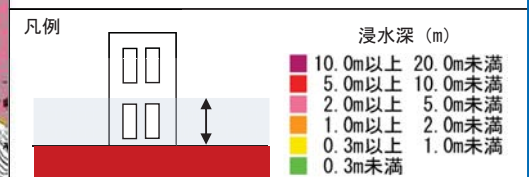
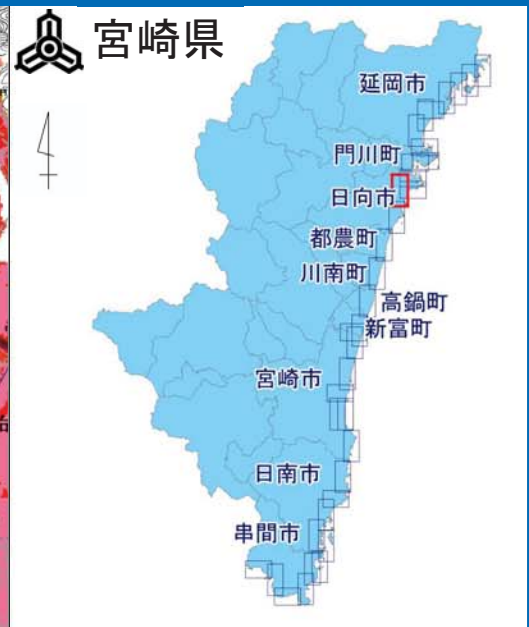
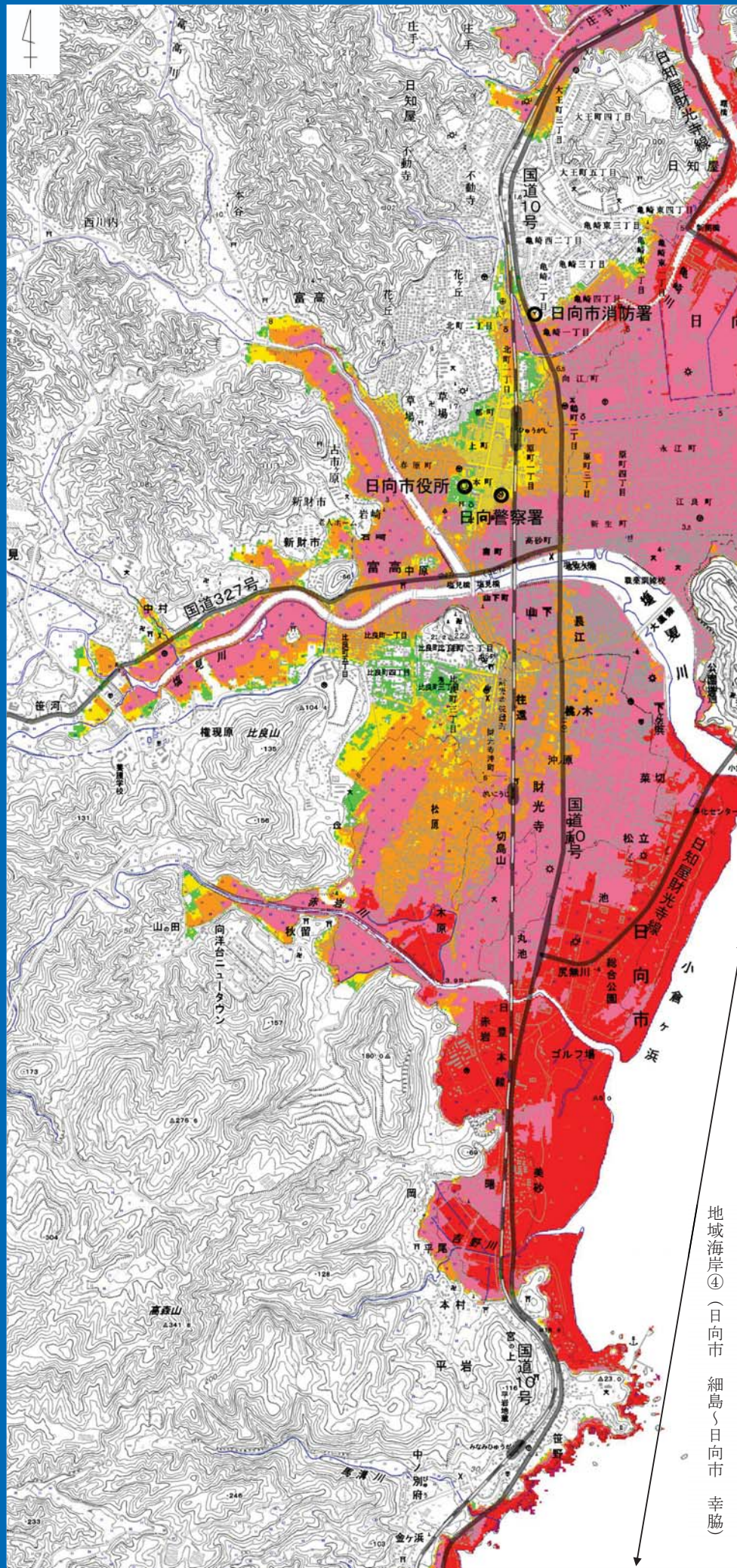
○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。

○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

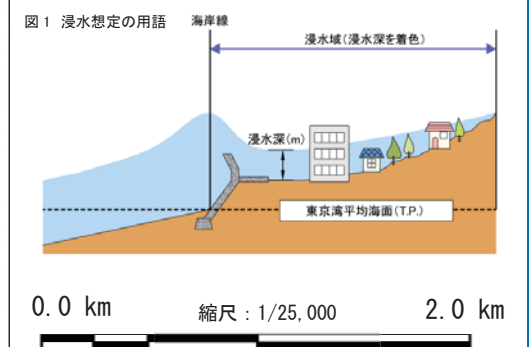
○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸④（日向市 3/4）

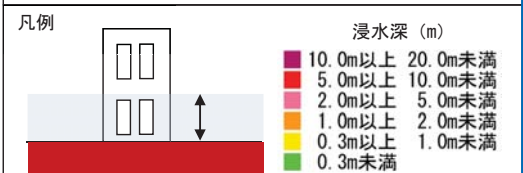
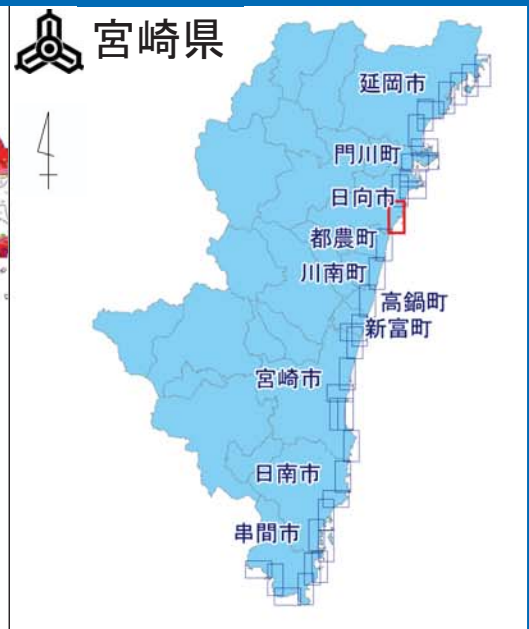
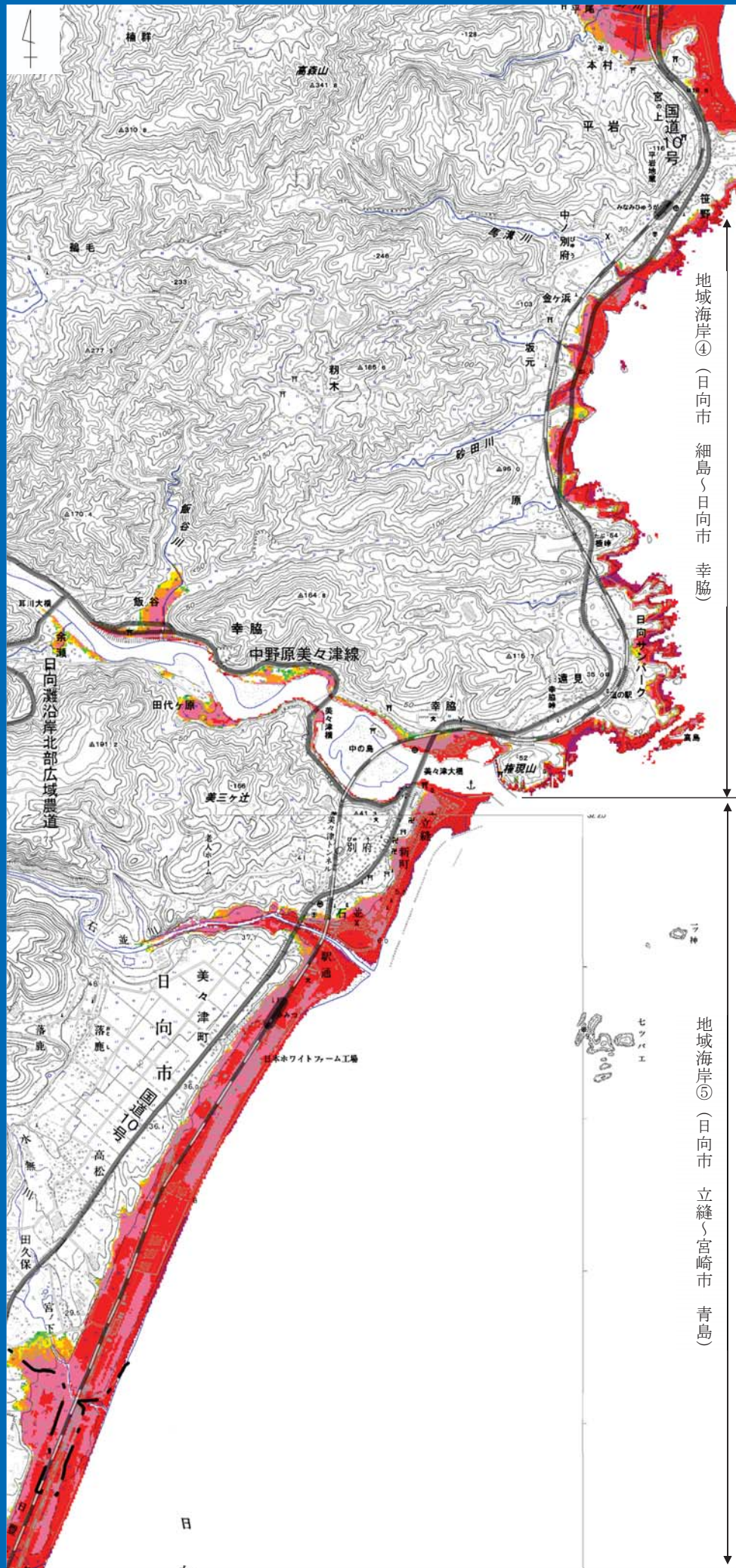


- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高さ範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ



宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸④（日向市 4/4）

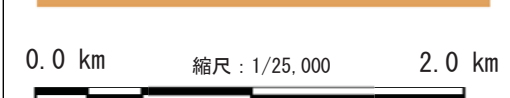
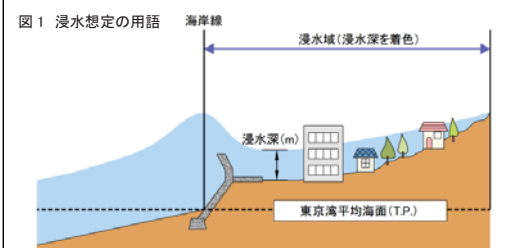


【留意事項】

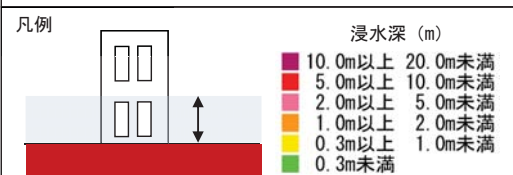
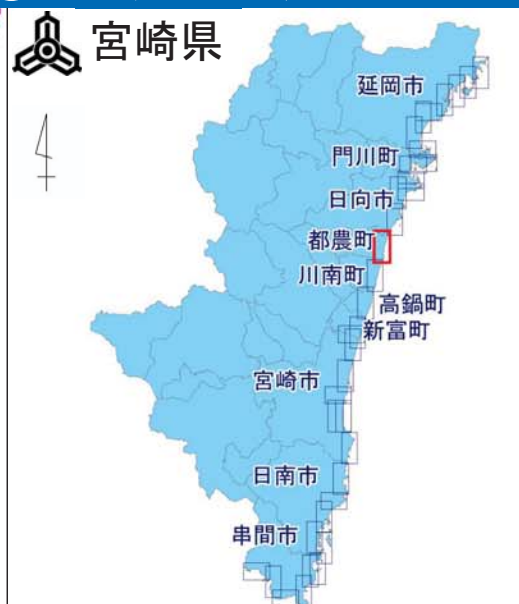
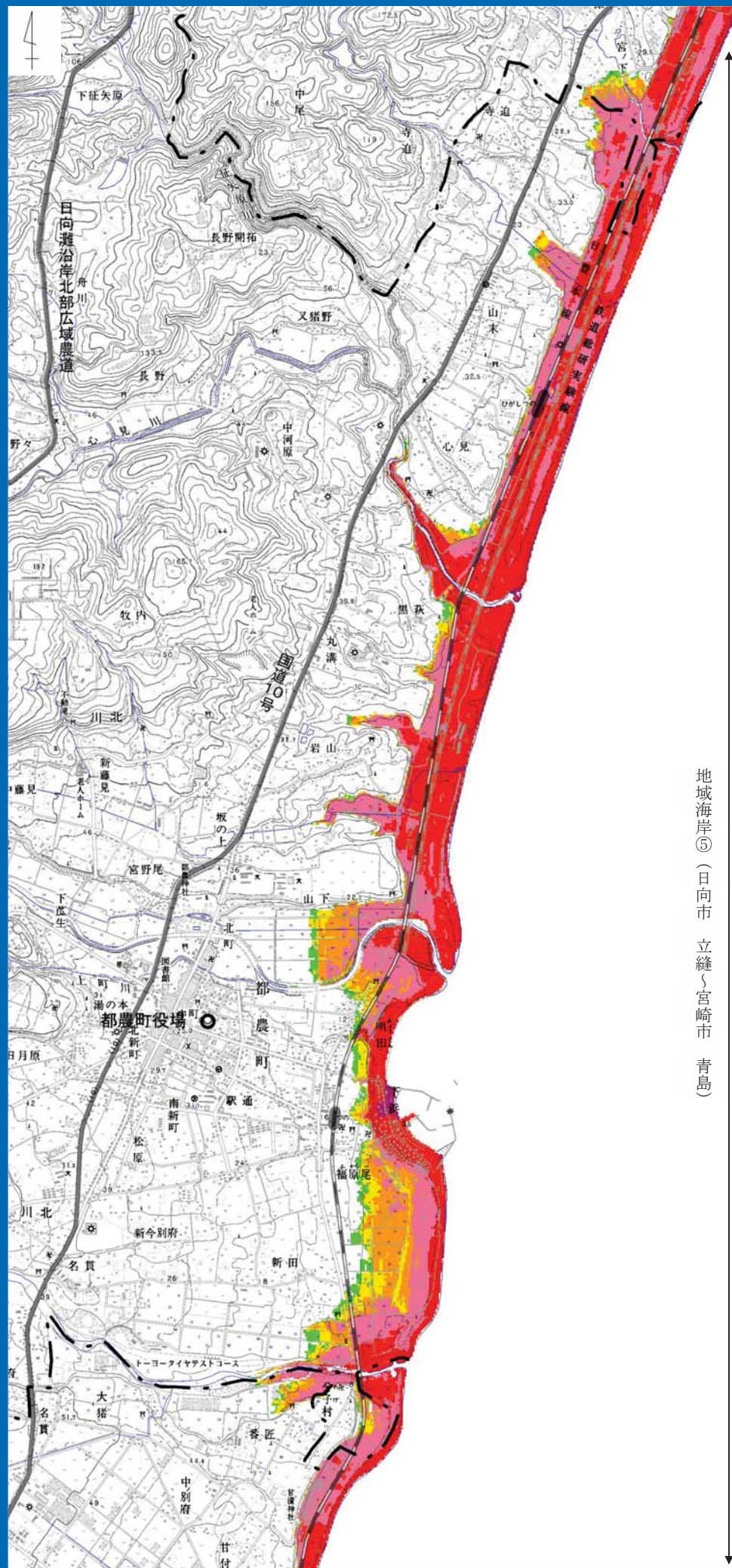
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（都農町 1/1）



[留意事項]

○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。

○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。

○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。

○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。

○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。

○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。

○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

[用語の解説]

(1) 海岸の区分について

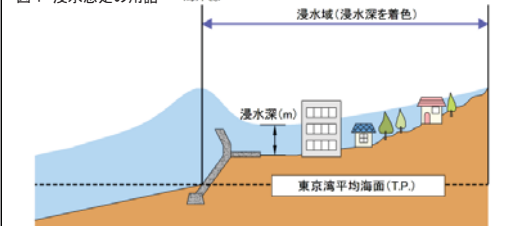
○地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの

(2) 浸水想定について(図1参照)

○浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域

○浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

図 1 浸水想定のも

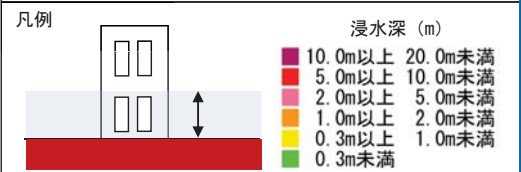
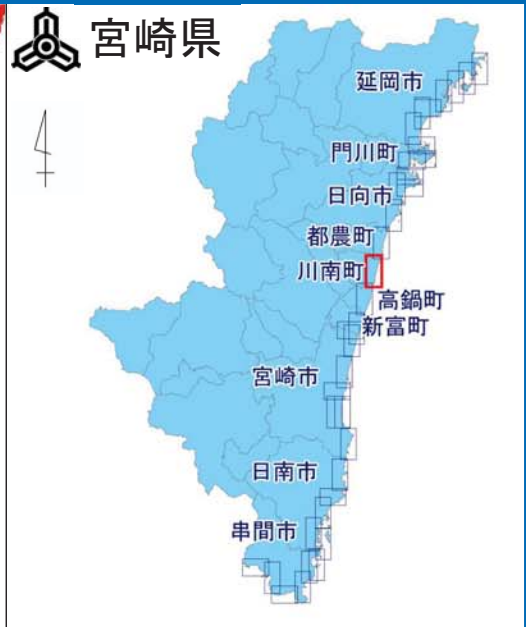
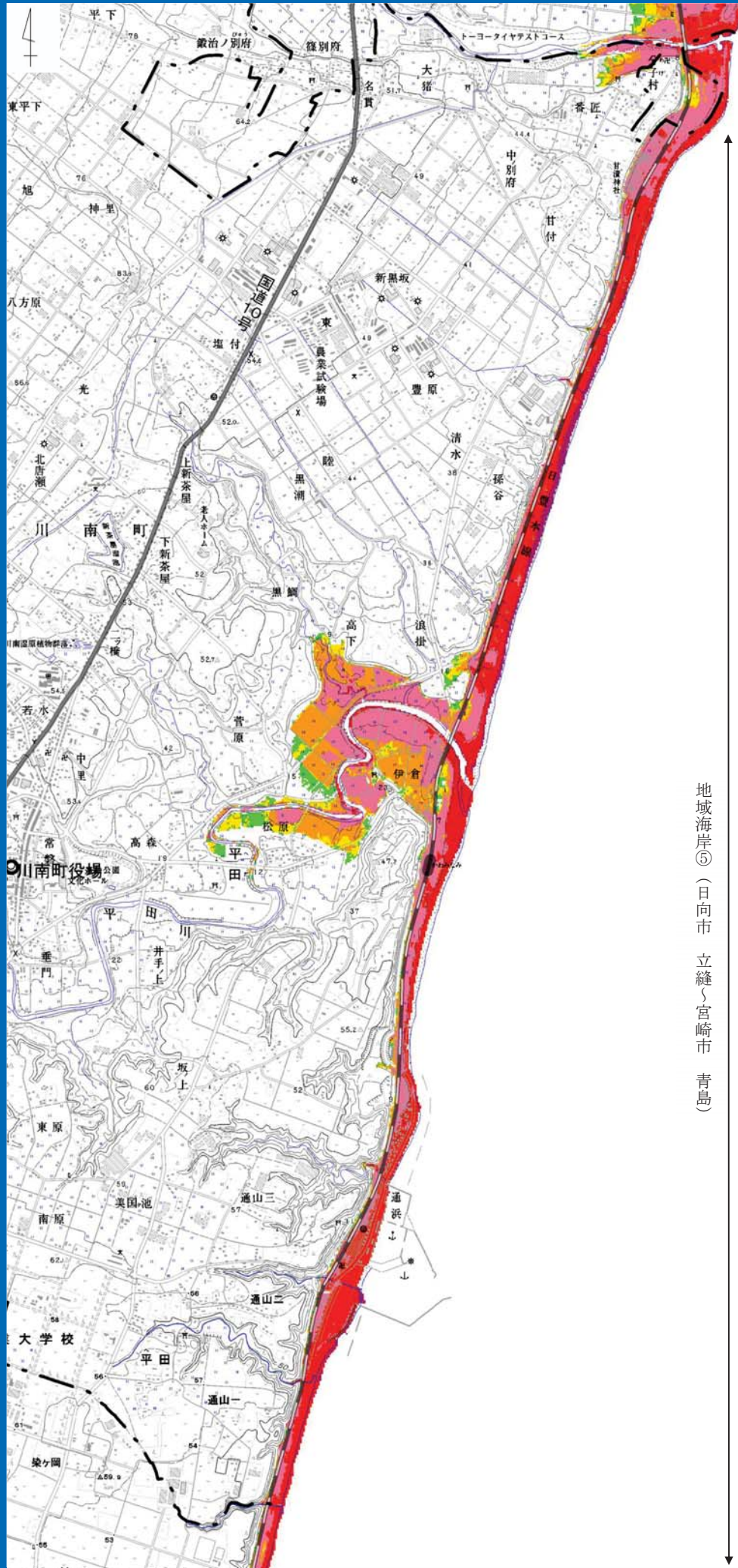


0.0 km

縮尺：1/25,000

2.0 km

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤ (川南町 1/1)



[留意事項]

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際に水位が変化することがあります。

[用語の解説]

- (1) 海岸の区分について
- 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定 of 浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
- 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

図 1 浸水想定用語

海岸線

浸水域 (浸水深を着色)

浸水深 (m)

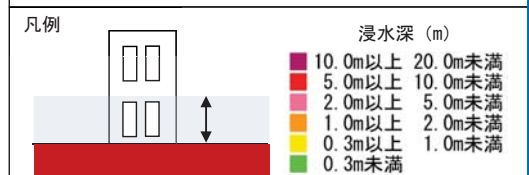
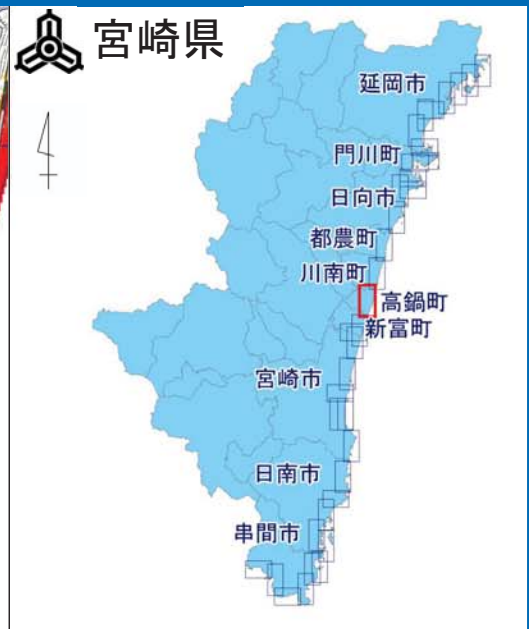
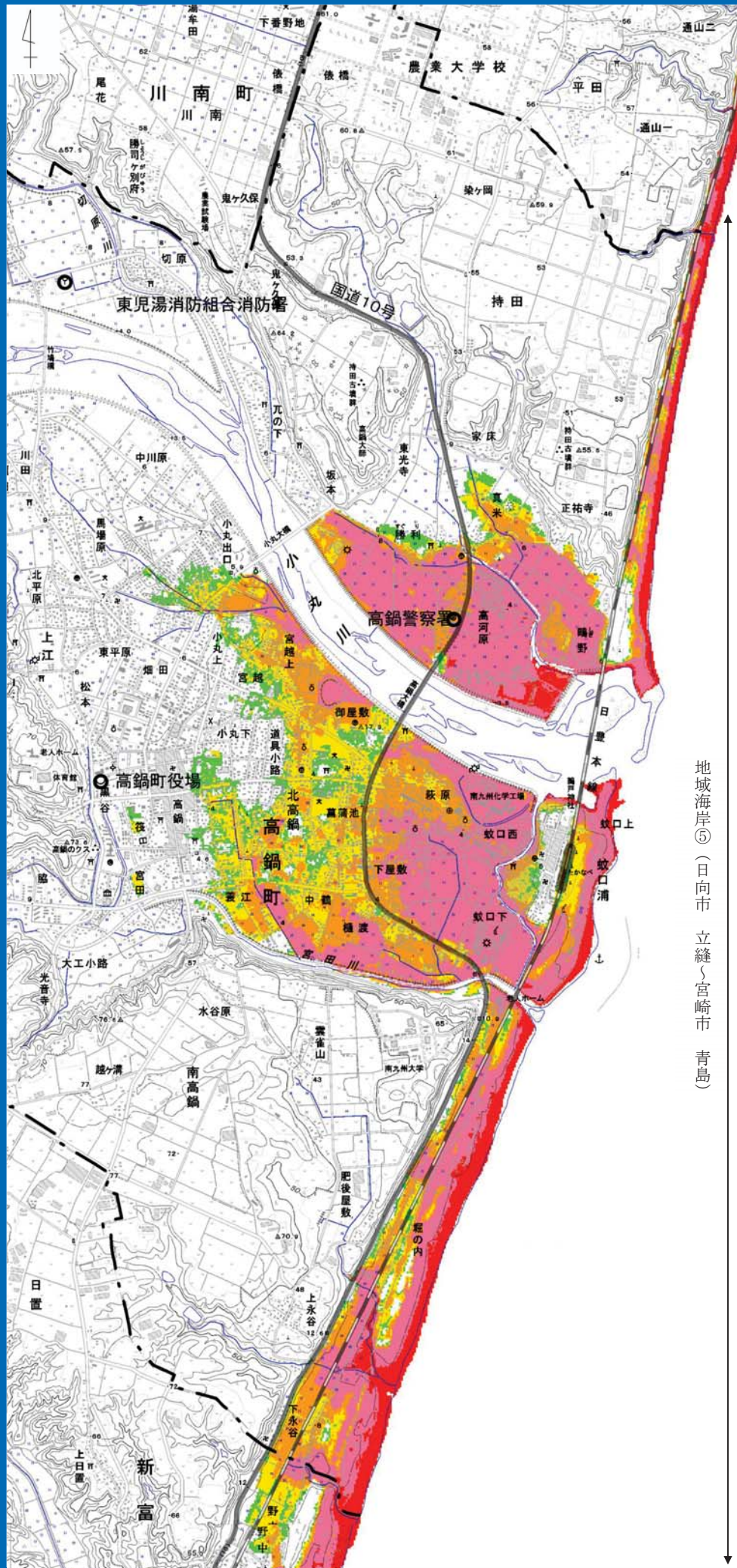
東京湾平均海面 (T.P.)

0.0 km

縮尺 : 1/25,000

2.0 km

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（高鍋町 1/1）

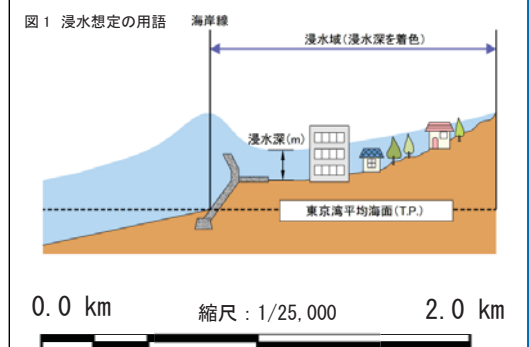


【留意事項】

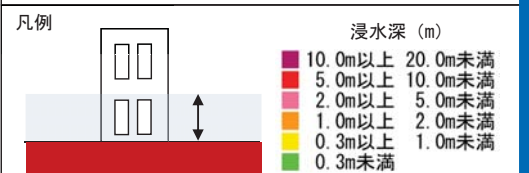
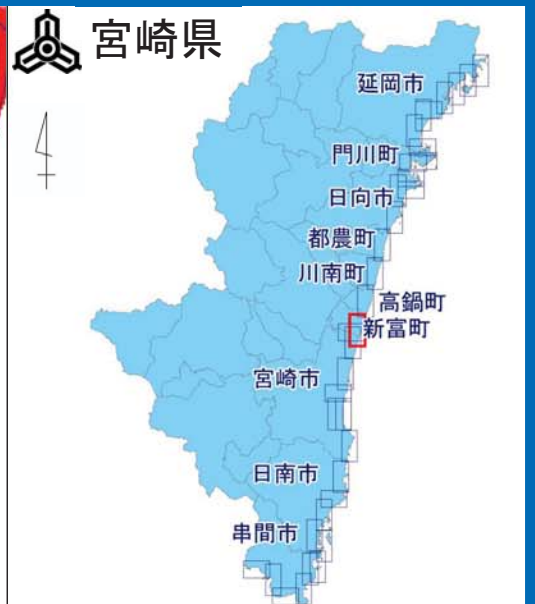
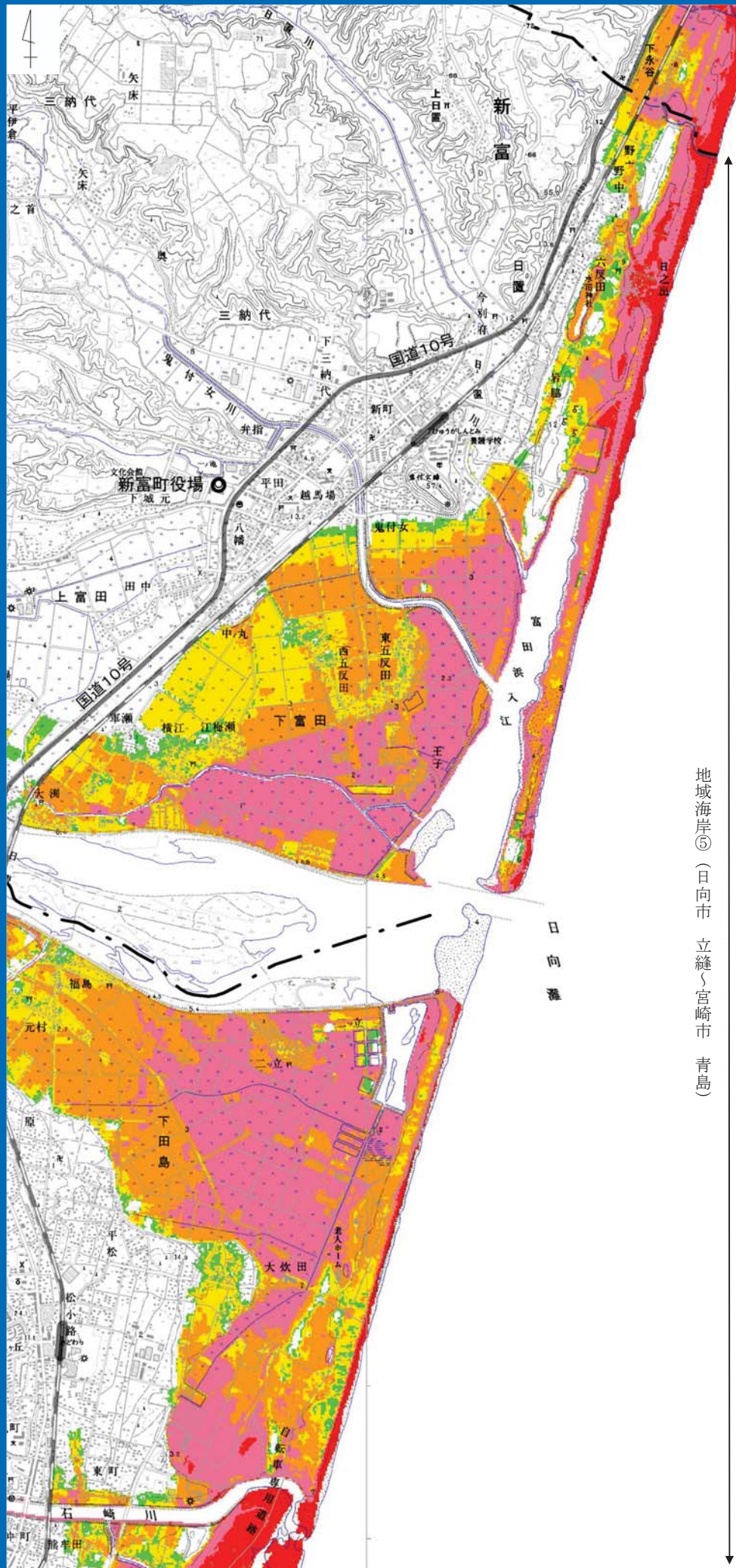
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（新富町 1/2）

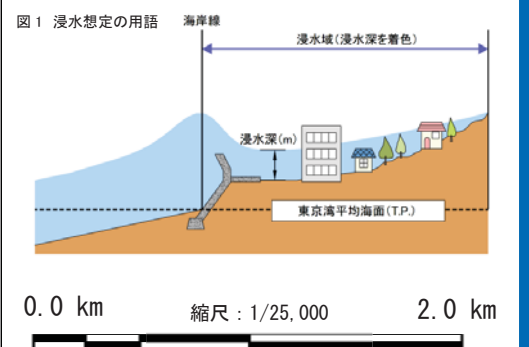


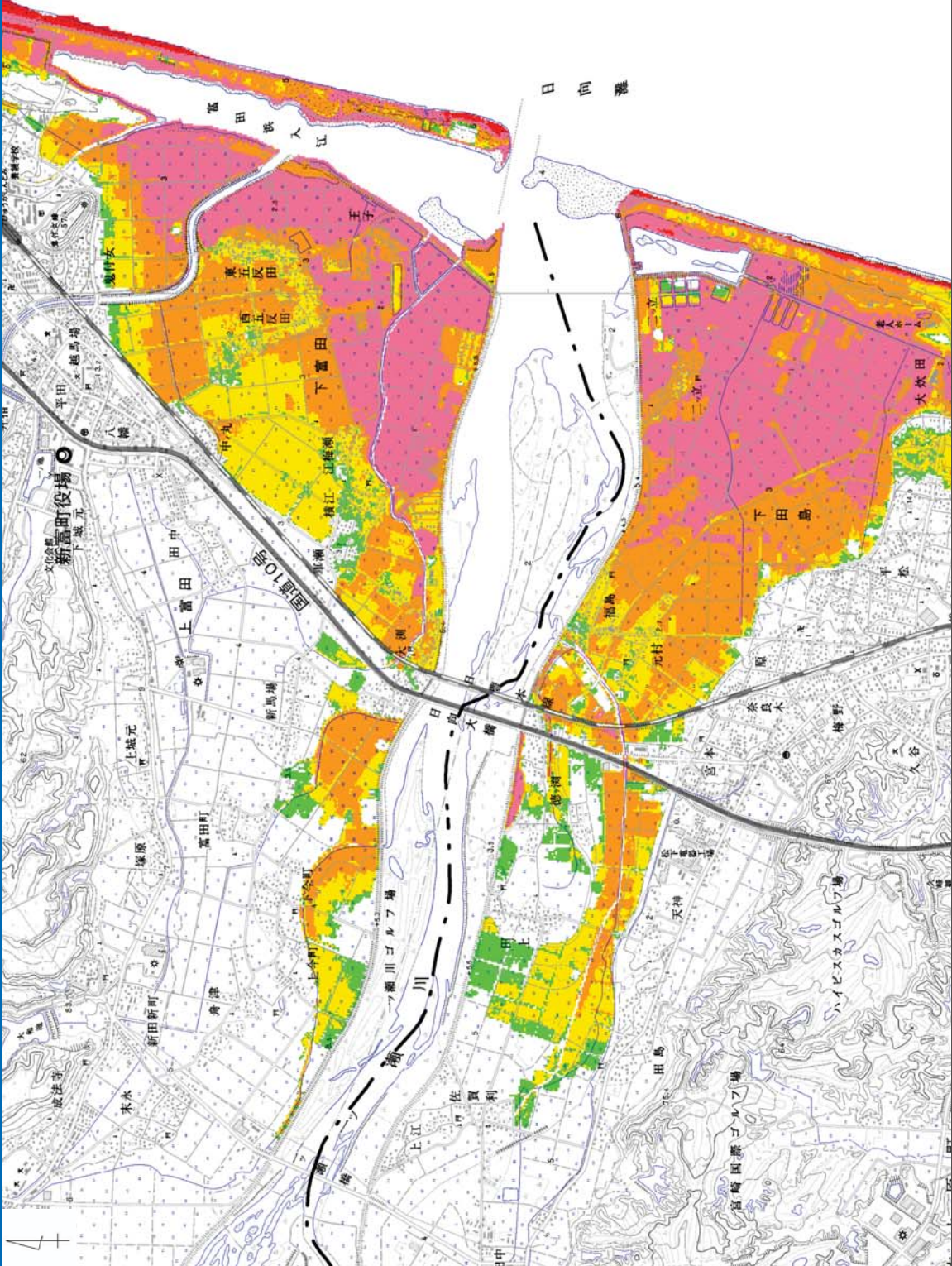
【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

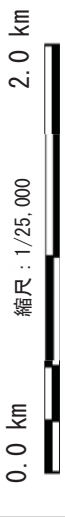
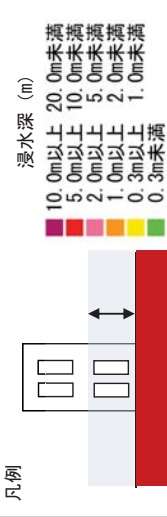
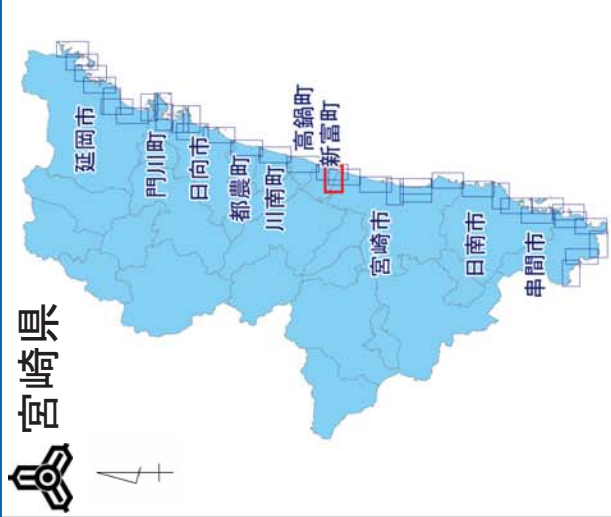
【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

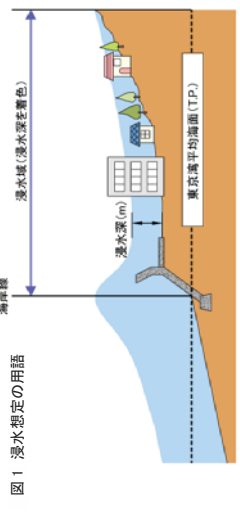




地域海岸⑤（日向市 立縫、宮崎市）

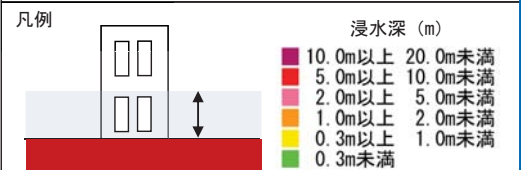
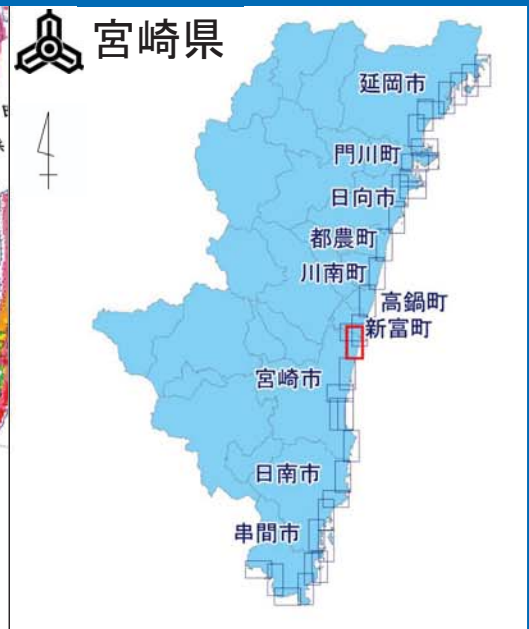
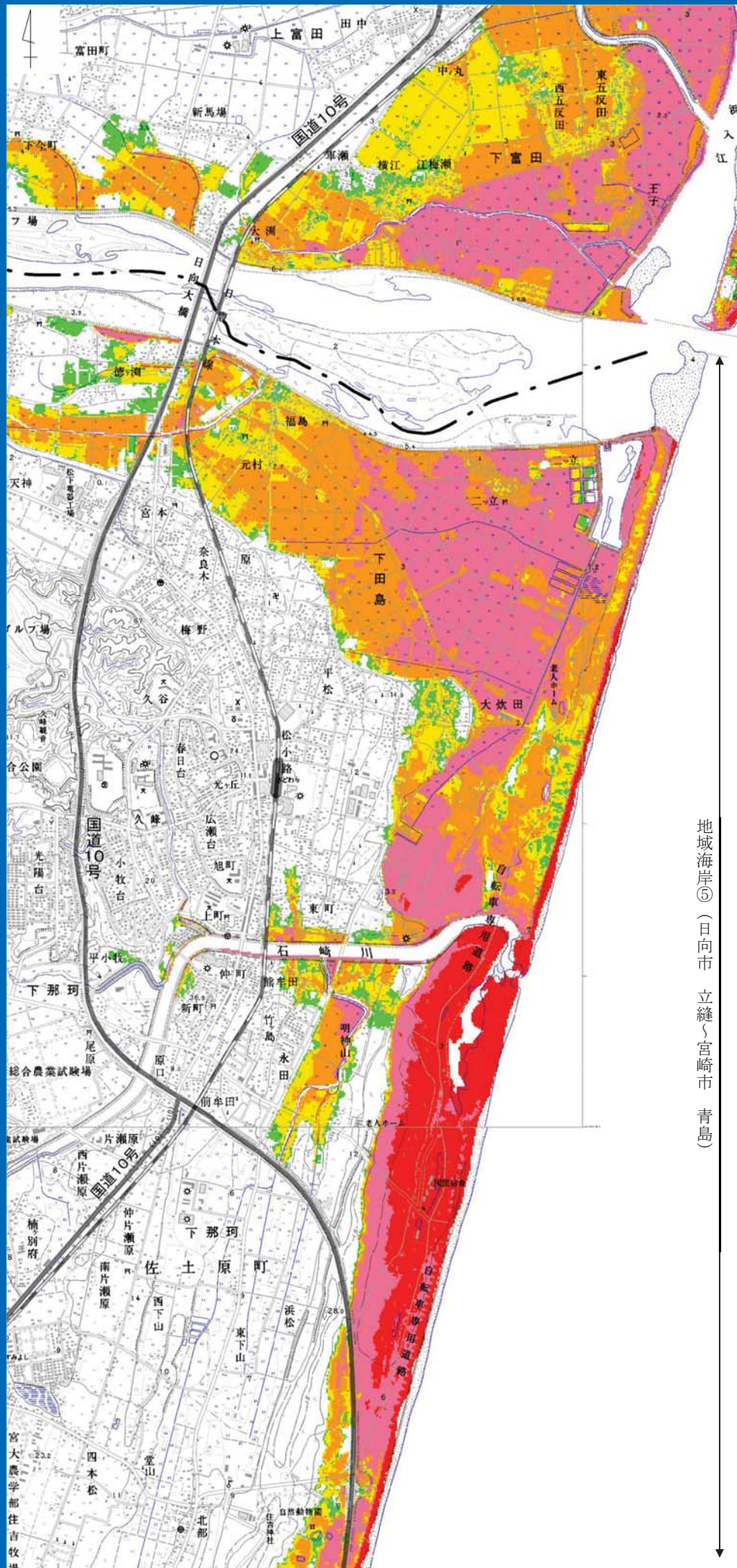


【用語の解説】
(1) 海岸の区分について
○ 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定津波の範囲などから区分したもの
(2) 浸水想定について（図1参照）
○ 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
○ 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に來た時の地面から水面までの高さ



【留意事項】
○「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
○「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
○ 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波から設定されたものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
○ 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
○「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
○ 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
○「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（宮崎市 1/6）

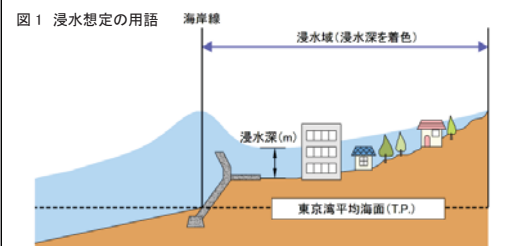


【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

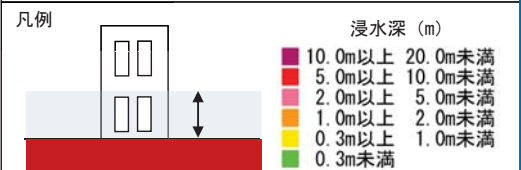
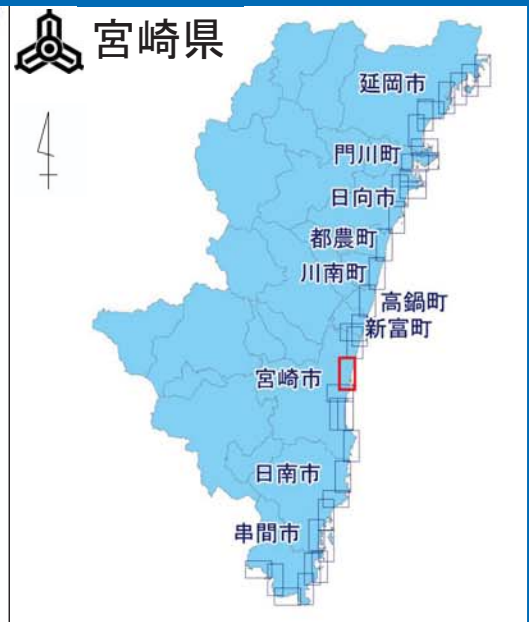
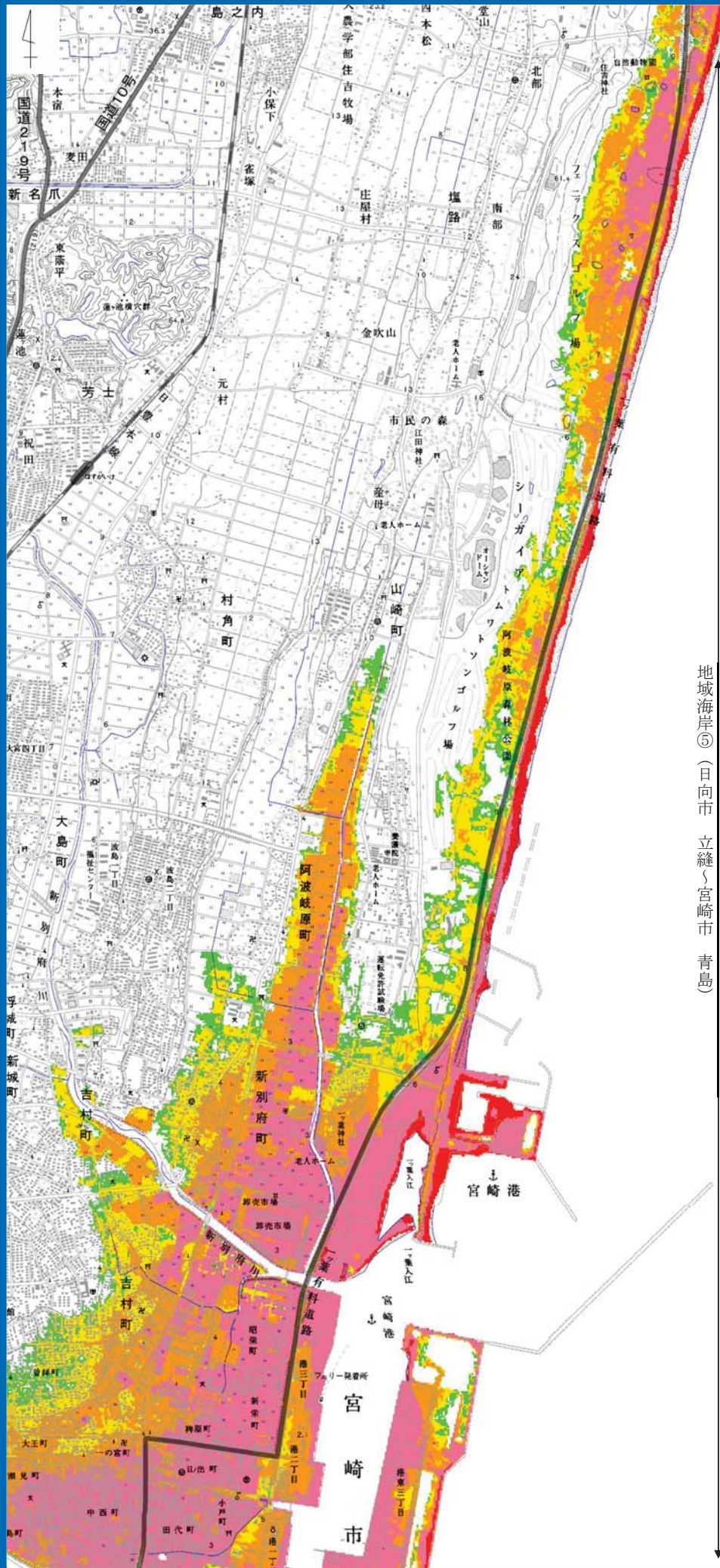
【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



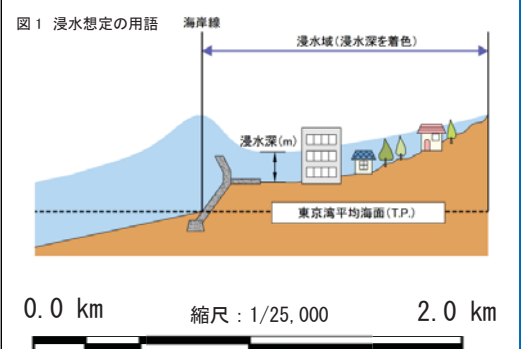
0.0 km 縮尺：1/25,000 2.0 km

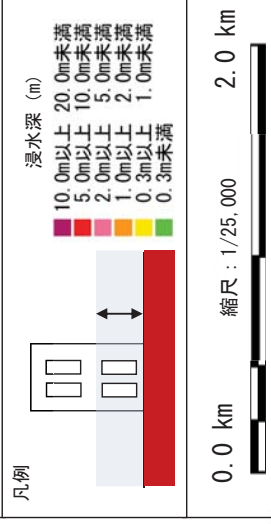
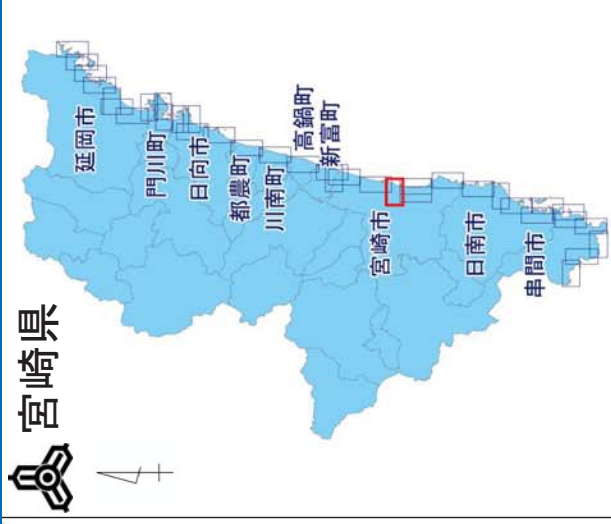
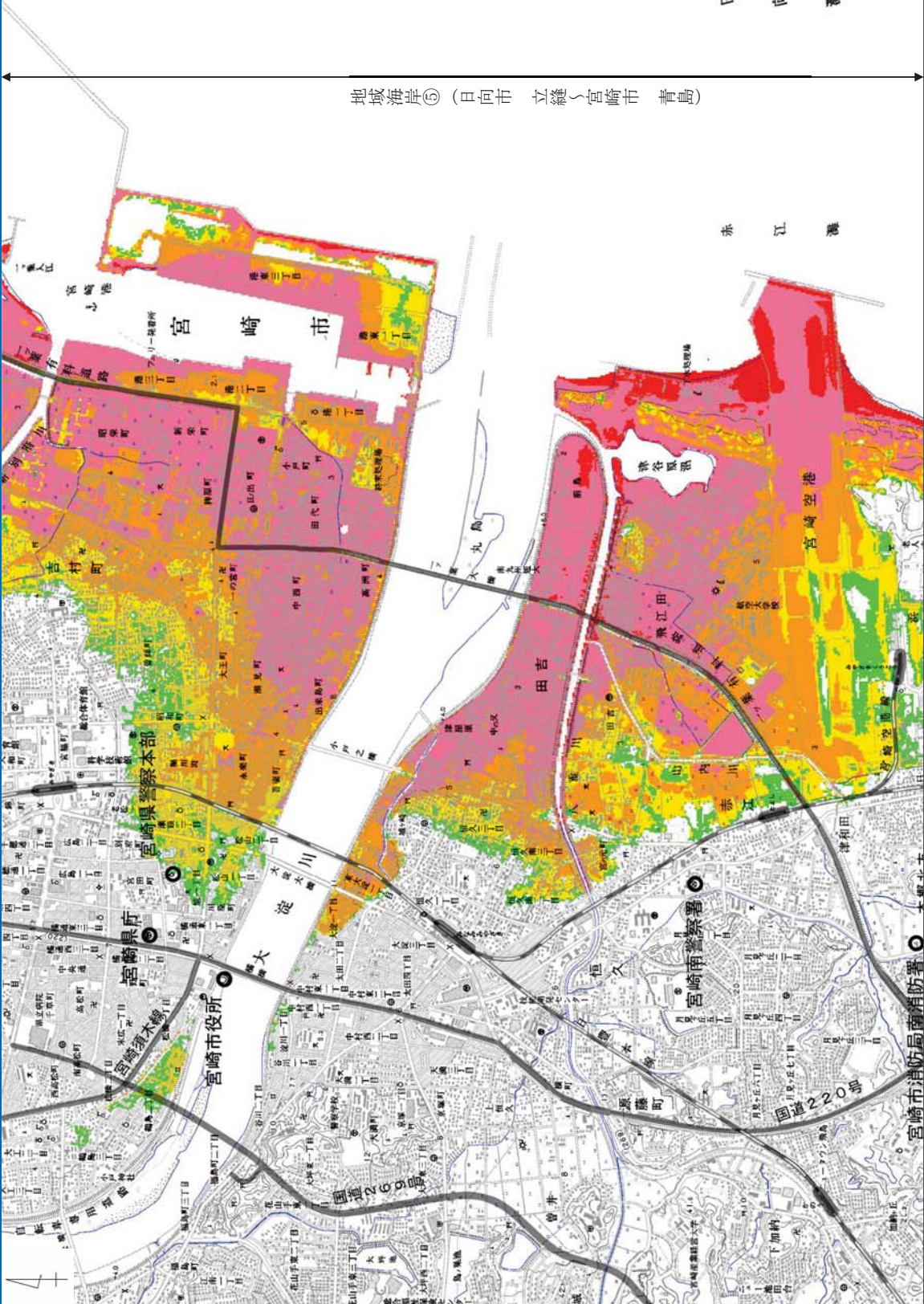
宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（宮崎市 2/6）



- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場合があります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

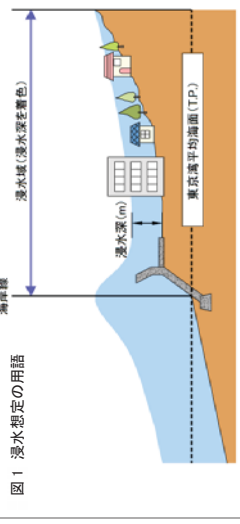




[用語の解説]

(1) 海岸の区分について

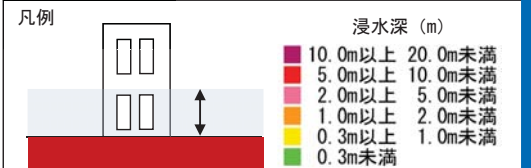
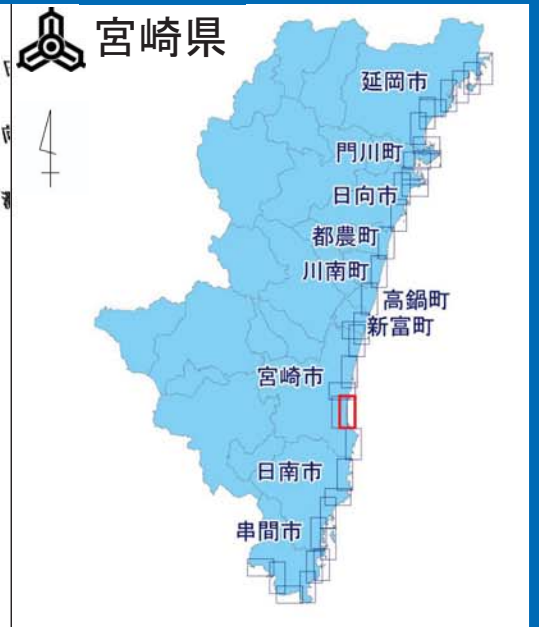
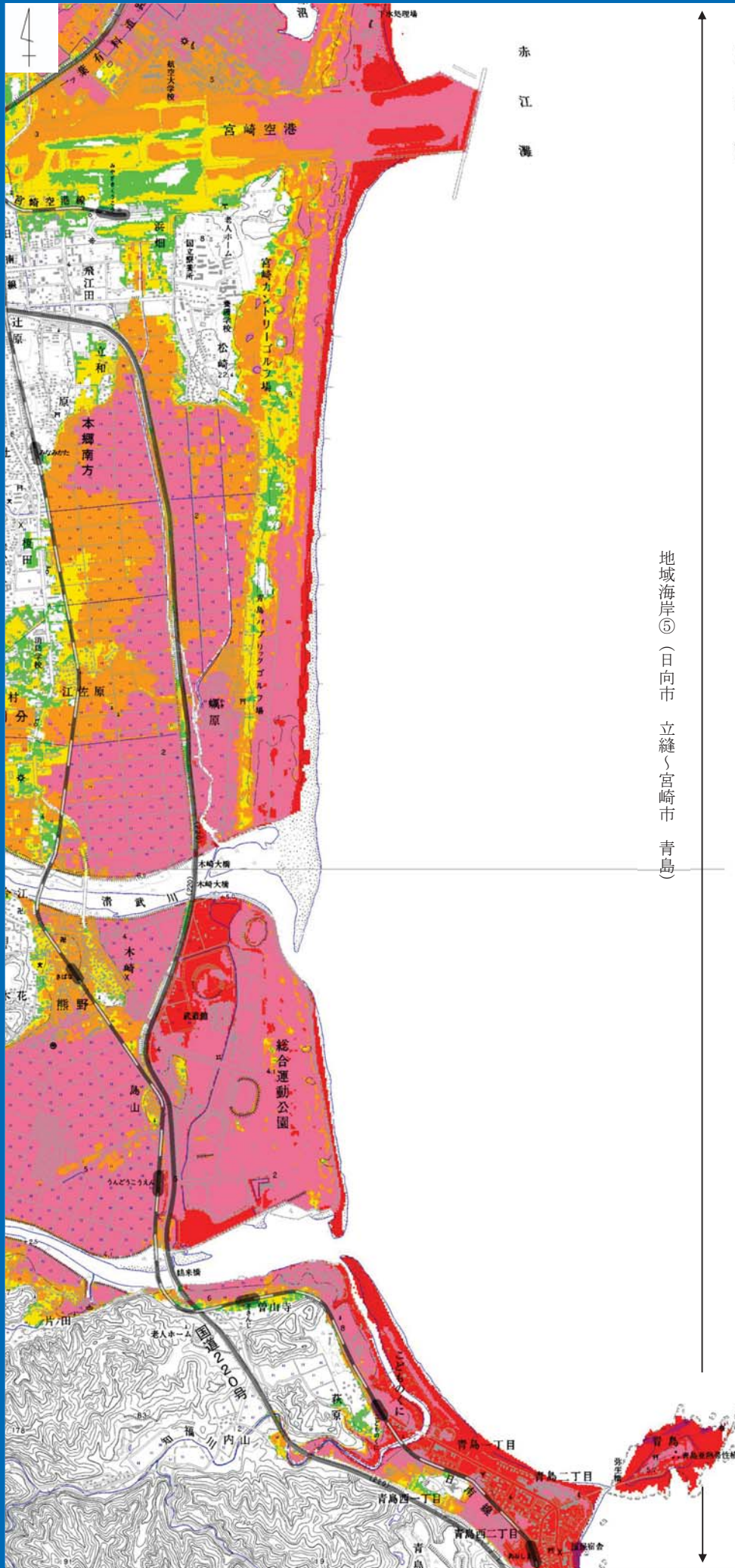
- 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定津波の範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
- 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
- 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



[留意事項]

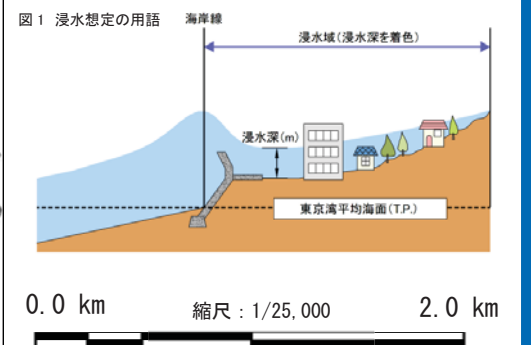
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意ください。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（宮崎市 4/6）

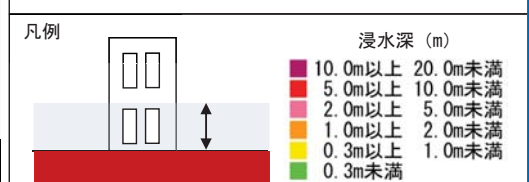
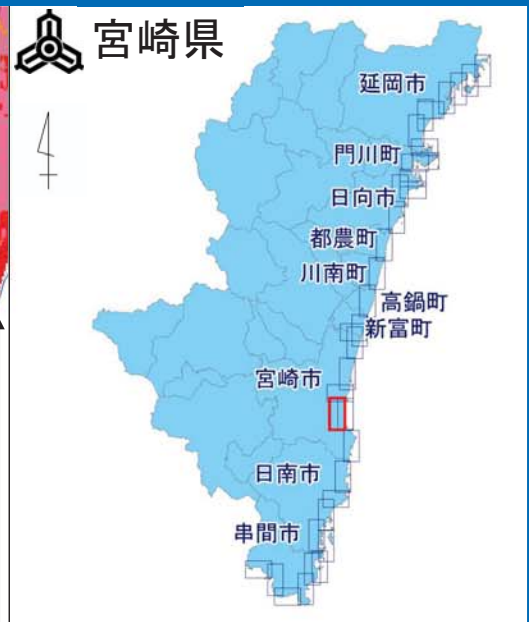
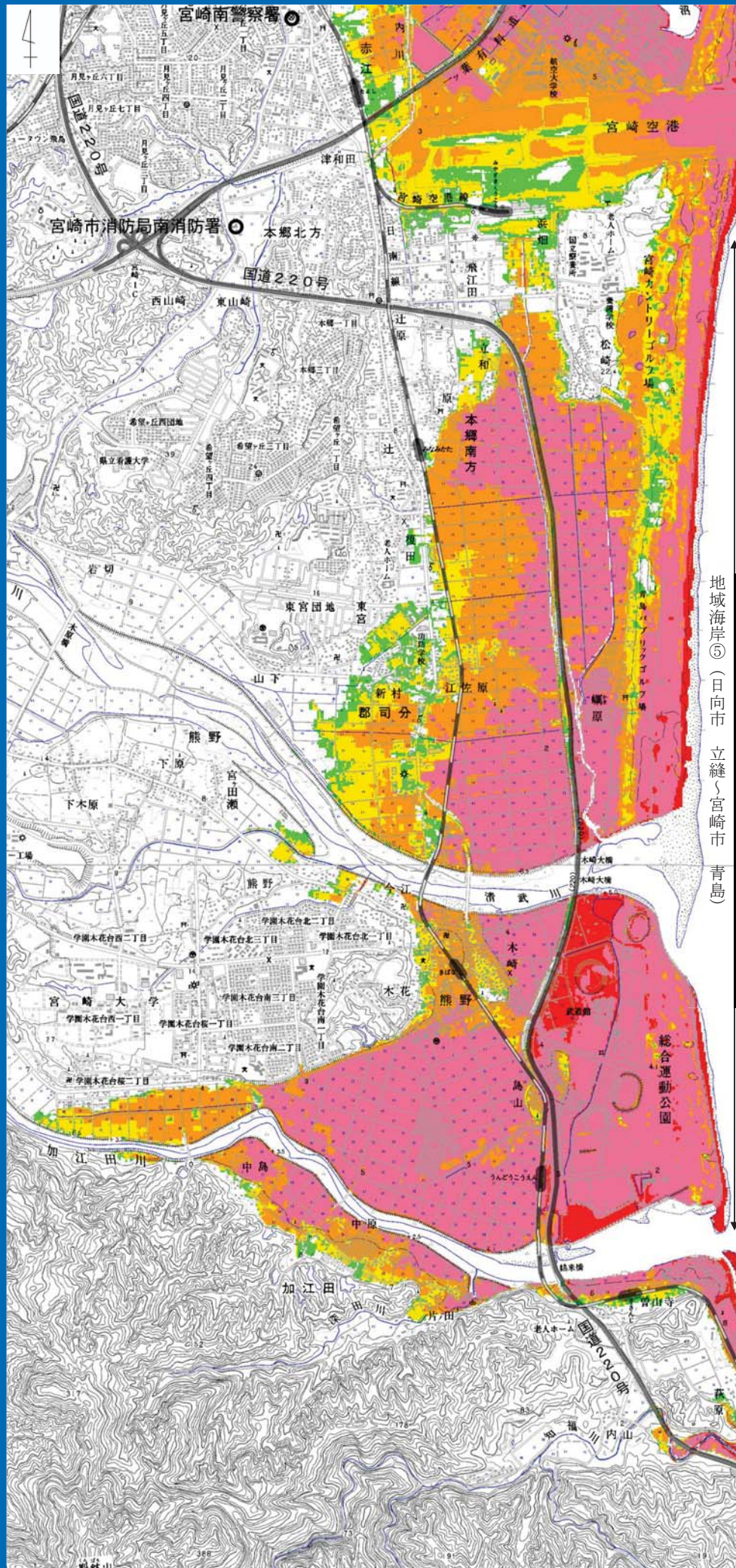


- 【留意事項】**
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律（平成23年法律第123号）第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】**
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について（図1参照）
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

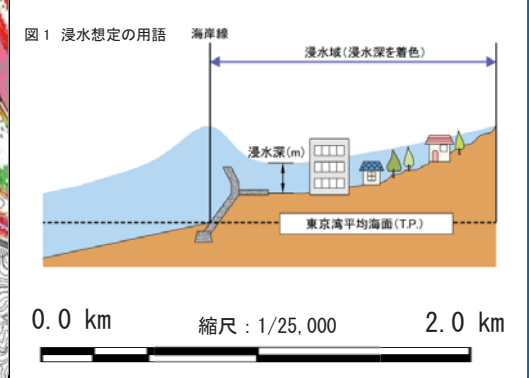


宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑤（宮崎市 5/6）

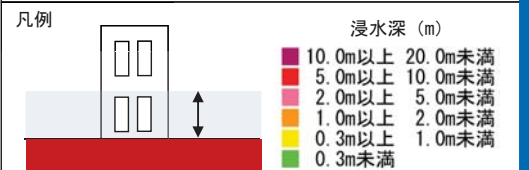
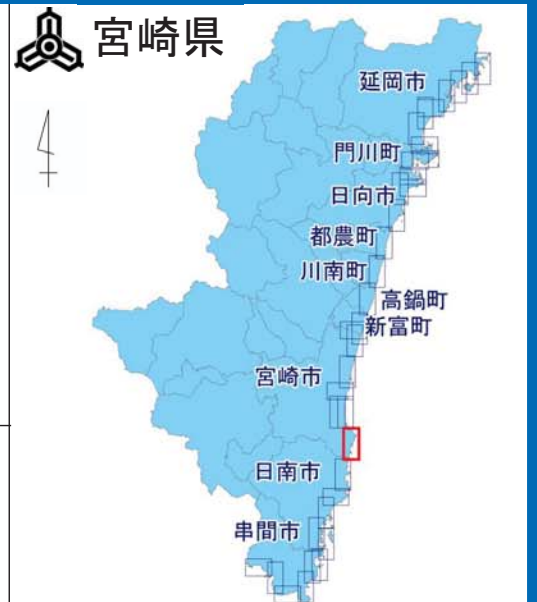
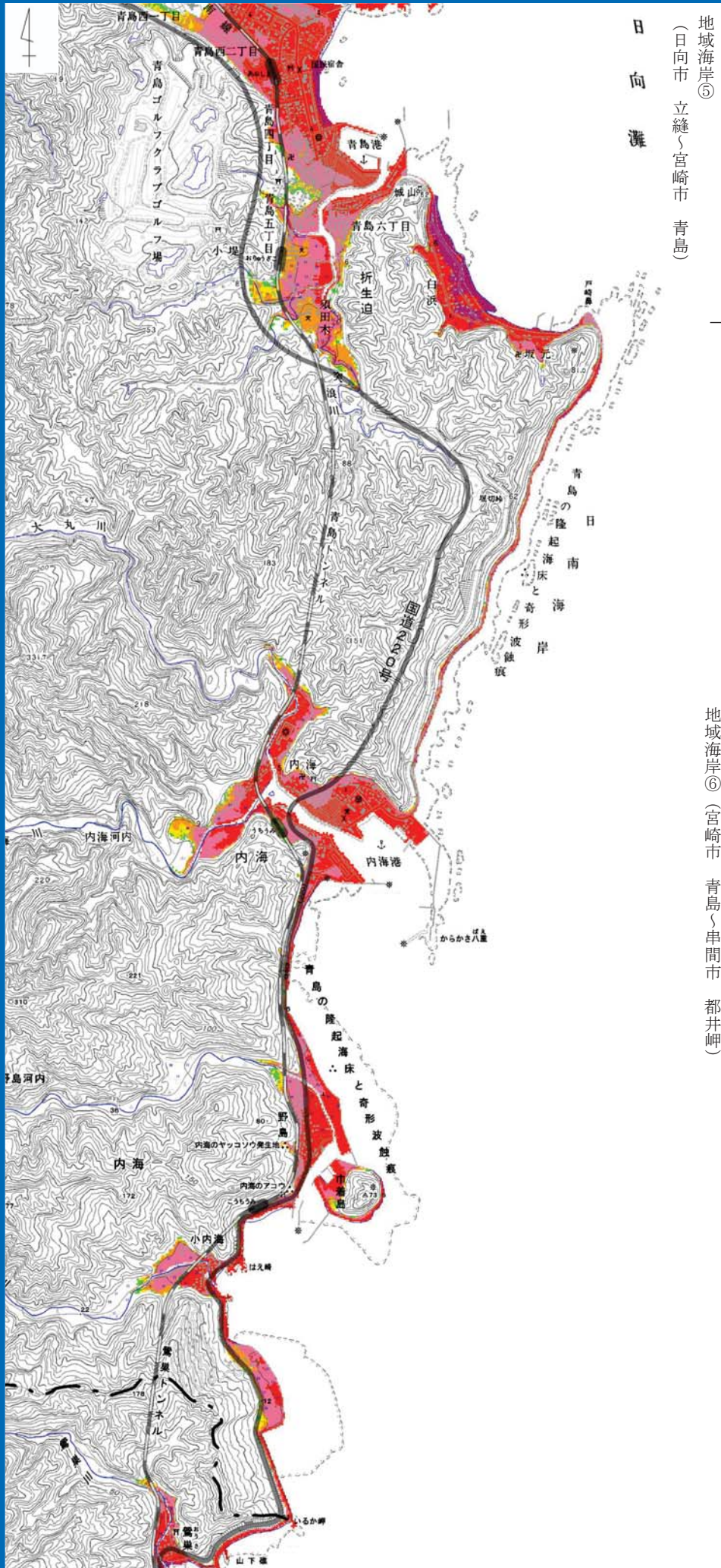


- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定の高さ範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来た時の地面から水面までの高さ

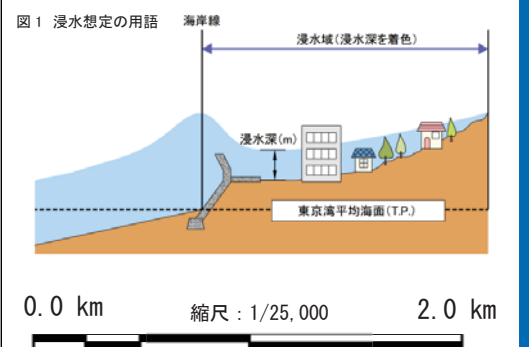


宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑥（宮崎市 6/6）

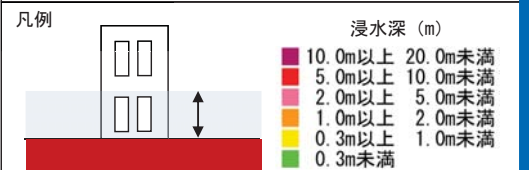
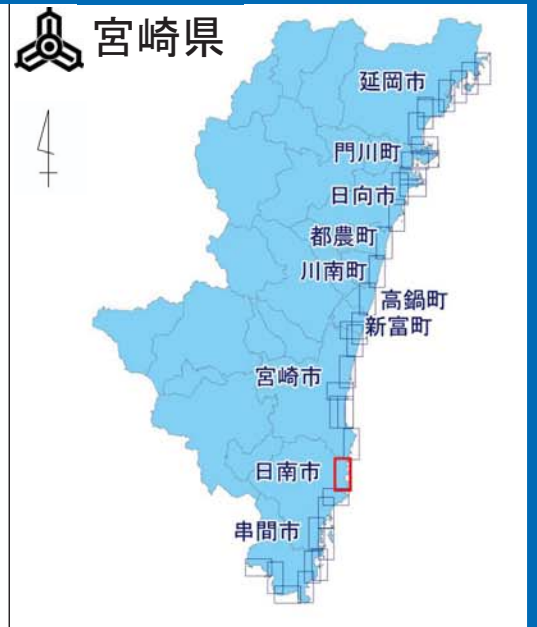
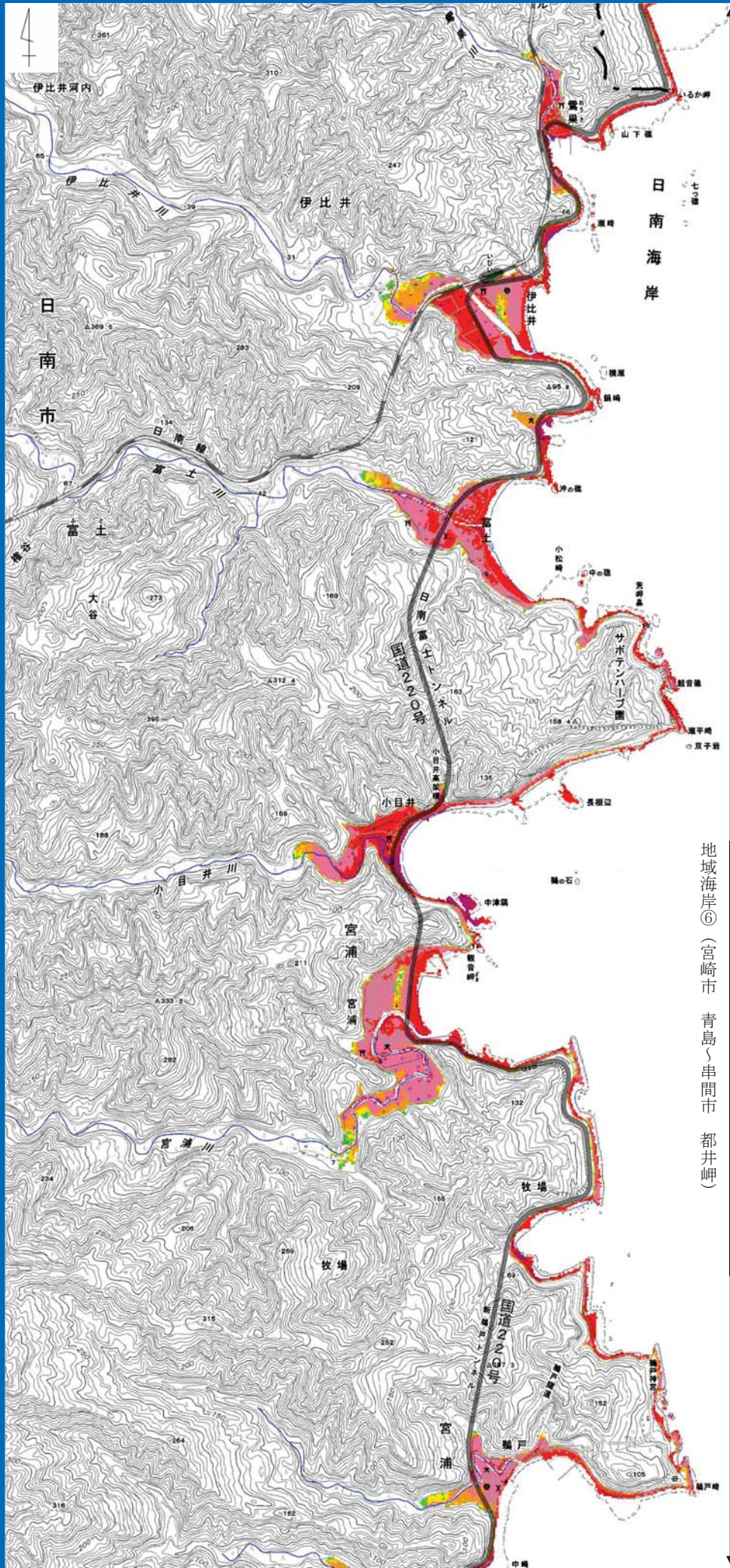


- 【留意事項】
- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
 - 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
 - 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
 - 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

- 【用語の解説】
- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
 - (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ



宮崎県津波浸水想定 市町別 地域海岸⑥（日南市 1/5）



【留意事項】

- 「津波浸水想定」は、津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
- 「津波浸水想定」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域(浸水域)と水深(浸水深)を表したものです。
- 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- 浸水域や浸水深は、局所的な地面の凹凸や建築物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなったりする場合があります。
- 「津波浸水想定」の浸水域や浸水深は、避難を中心とした津波防災対策を進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではないことにご注意下さい。
- 浸水域や浸水深は、津波の第一波ではなく、第二波以降に最大となる場所もあります。
- 「津波浸水想定」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を図示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

【用語の解説】

- (1) 海岸の区分について
 - 地域海岸：宮崎沿岸を海岸線の形状や山付け等の自然条件、浸水想定時の浸水範囲などから区分したもの
- (2) 浸水想定について(図1参照)
 - 浸水域：海岸線から陸域に津波が遡上することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置にきた時の地面から水面までの高さ

